



圧倒的ロリ巨乳の

幼馴染が

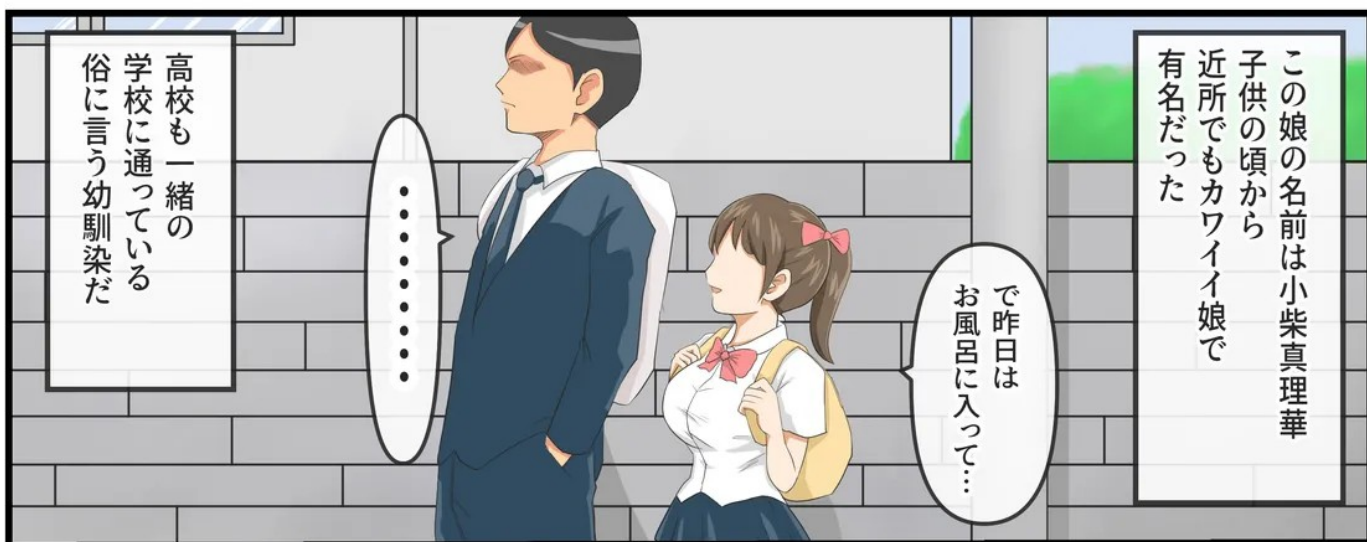
チャラ男に

NTR

イケね娘食堂

されました。











子供に見えるくせに
時折見せる母性に
溢れたその笑顔…



将来は保母さんにな
りたいらしく
今けっこうマジで
勉強しているらしい



口に出して
言えないが…

あっ!
もう待ってよー!



俺はそんな真里華が大好きで…
ずっとこんな関係が続くと
思っていた…そう…ずっと…



そんなギャップに
やられてしまう俺だった

おい早く行くぜ!
遅刻するぞ!

みんなが処女を
捨てだすから焦っている

男に免疫がない

信用出来る
友達が幼馴染以外
いない

やわらかおっぱい

幼馴染が気になってる

肌がキレイ

コミュ障気味

子供の頃から
ずっとツインテール

子供大好き

真正処女

アニメグッズ大好き

メンタルが幼い

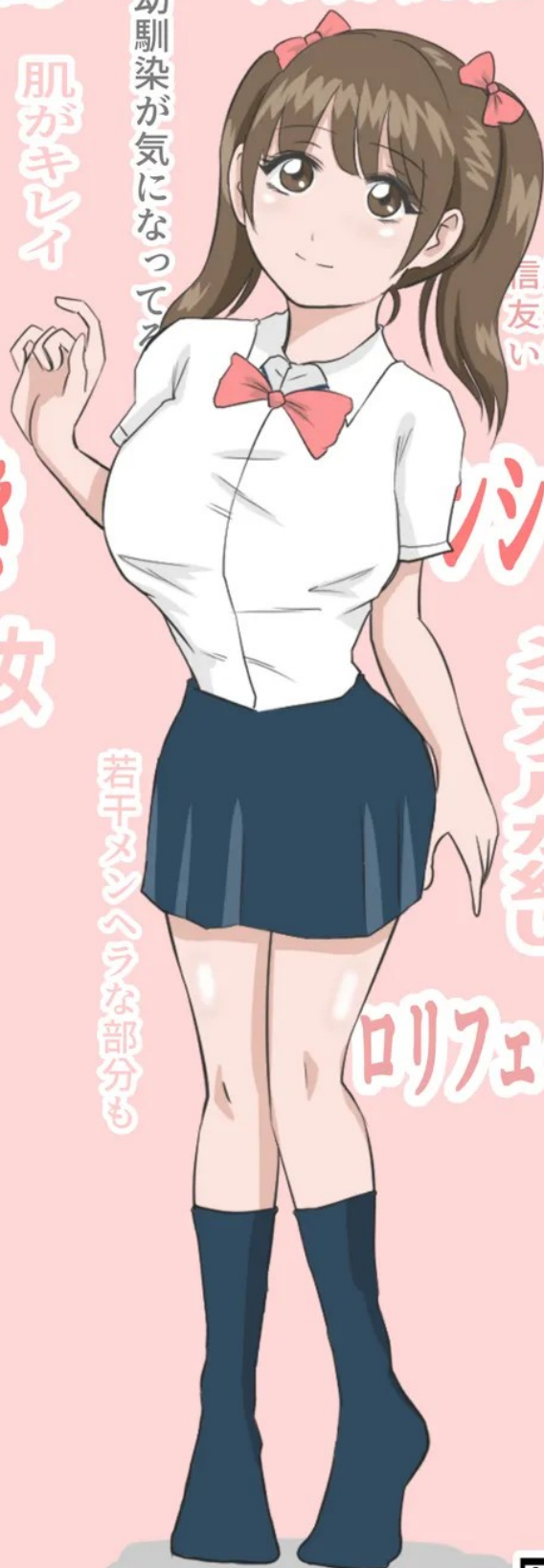
エッチの
知識が皆無

ロリフェイス

若干メンヘラな部分も

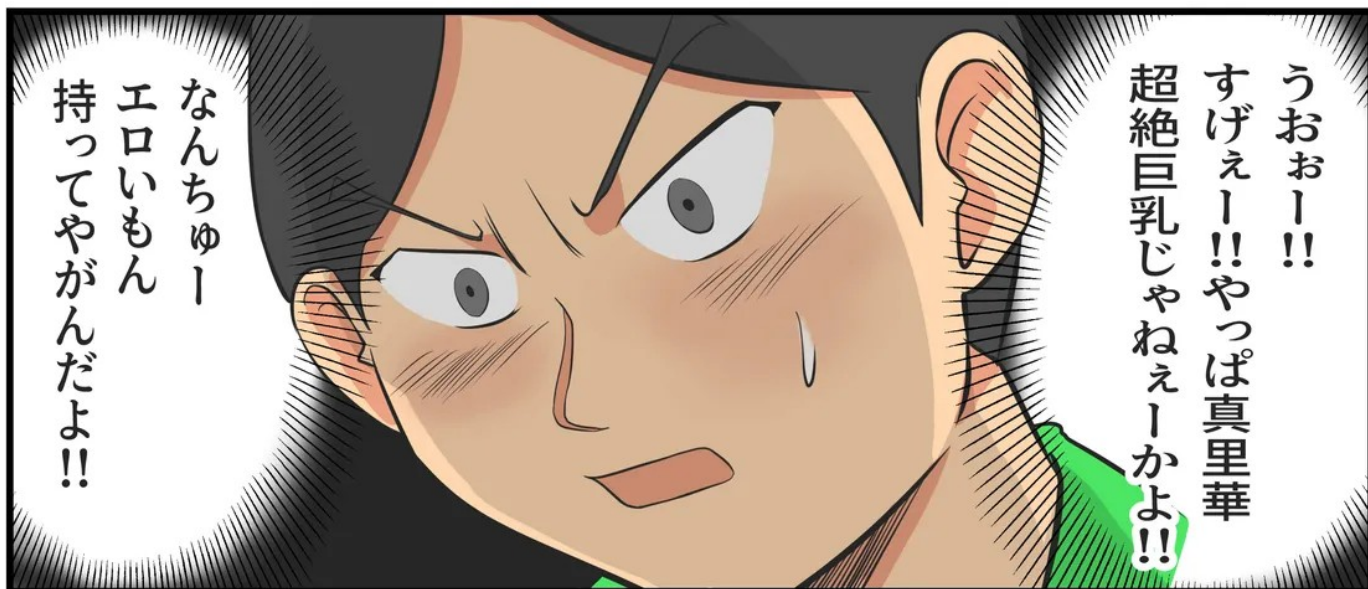
アカップおっぱい♡

圧倒的ロリ巨乳の幼馴染が
チャラ男にNTRされました。

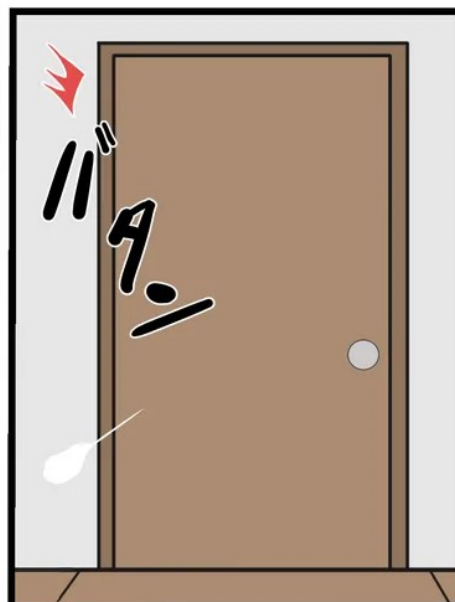


エッチな話はすごく苦手
でも子供が大好きだから
いずれ自分もしなきゃいけないと
思っている









マジか真里華
もしかして男でも
出来たのかよ!?



明日問いつめてやるー



おはよ!

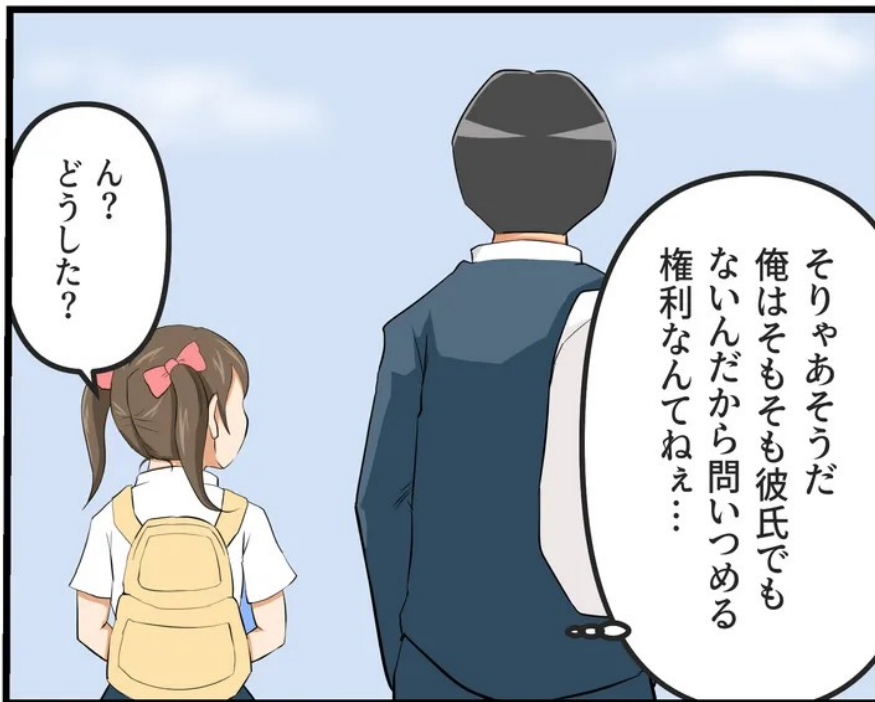


お...おう
おはよ

と...問いつめれる
はずもなく...



でもありえねえだろ…



ん？
どうした？

そりゃあそうだ
俺はそもそも彼氏でも
ないんだから問いつめる
権利なんてねえ…



そして何より頭の中が
お子ちゃまなのか
大人のお話が大人の苦手だ

ねー
たける？



こいつは大の人見知りで
俺以外の男子と喋ってるのを
見た事がねえ…

？



そんな真里華に
男なんてありえねえーだろ

ねー
たけるって聞してる？

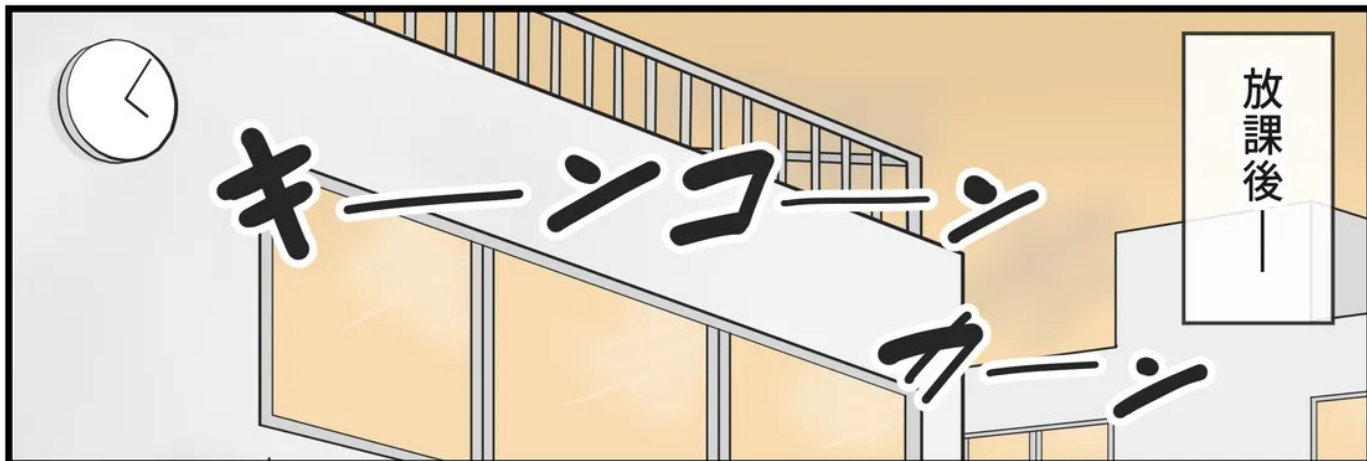


この間も家に遊びに来た時
一緒にドラマを見てて
キスシーンになった時…

キヤーだ！
ちよつとムリムリ
いやらしい！もう
消して！！

なんて
慌てふためく始末









ダメだよみき!

真里華はアタシの嫁になるんだから
真里華の処女はアタシが奪うの♡



キャツ! やだもう
りっちゃんやめてよ!

真里華はホントカワイいな♡
冗談だよ冗談!



でも真里華も
高校2年にもなるんだから
そろそろ男の一人でもだぞ!

う...うん



彼氏にするなら
絶対そうゆう男だぞ!?

うん...



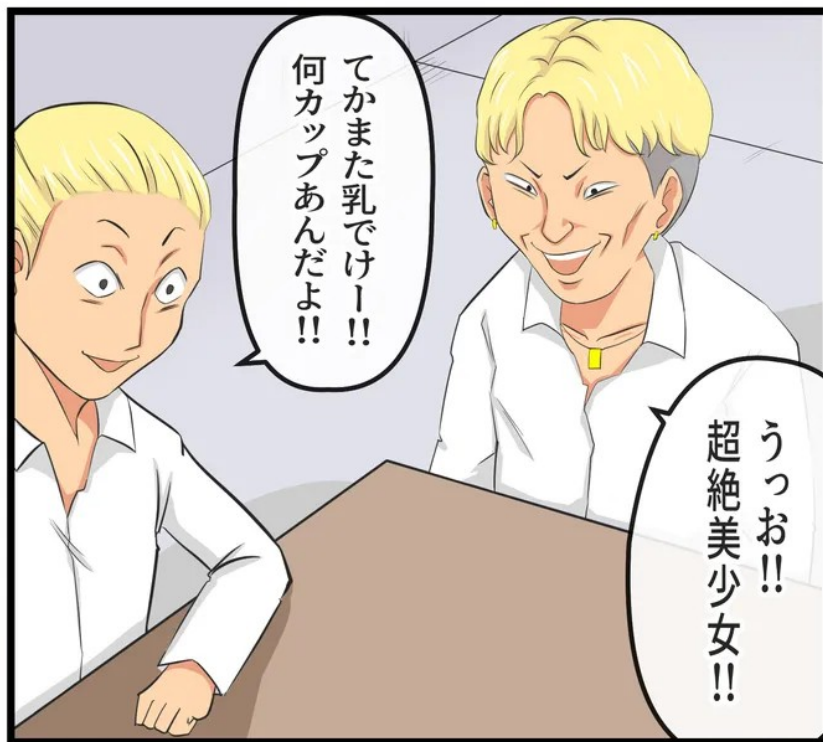
あんたの近くに
遅しくてあんたを
守ってくれるイイ男は
いないのか?



カワイイんだ♡
アタシもこうゆう時期
あったなあ



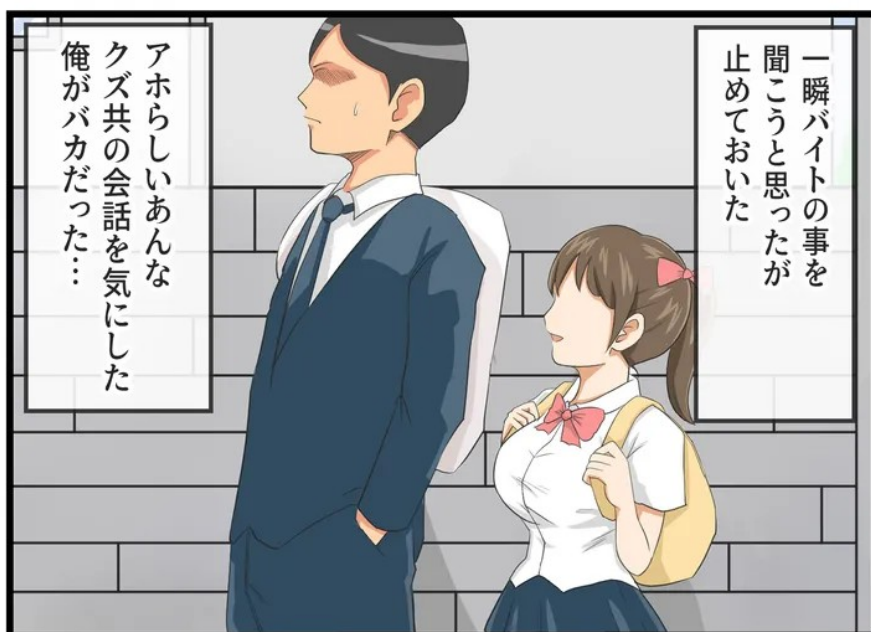
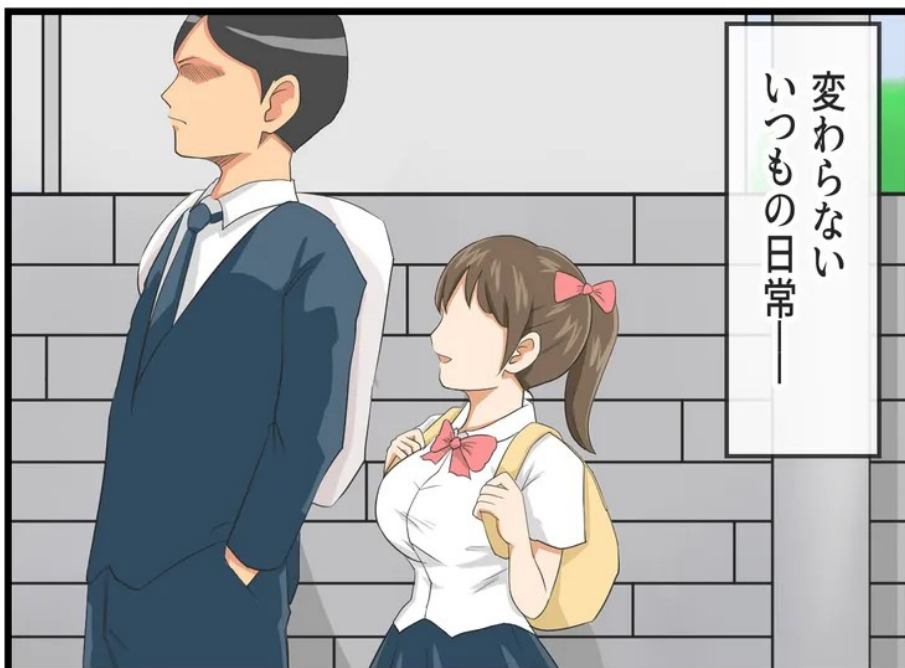


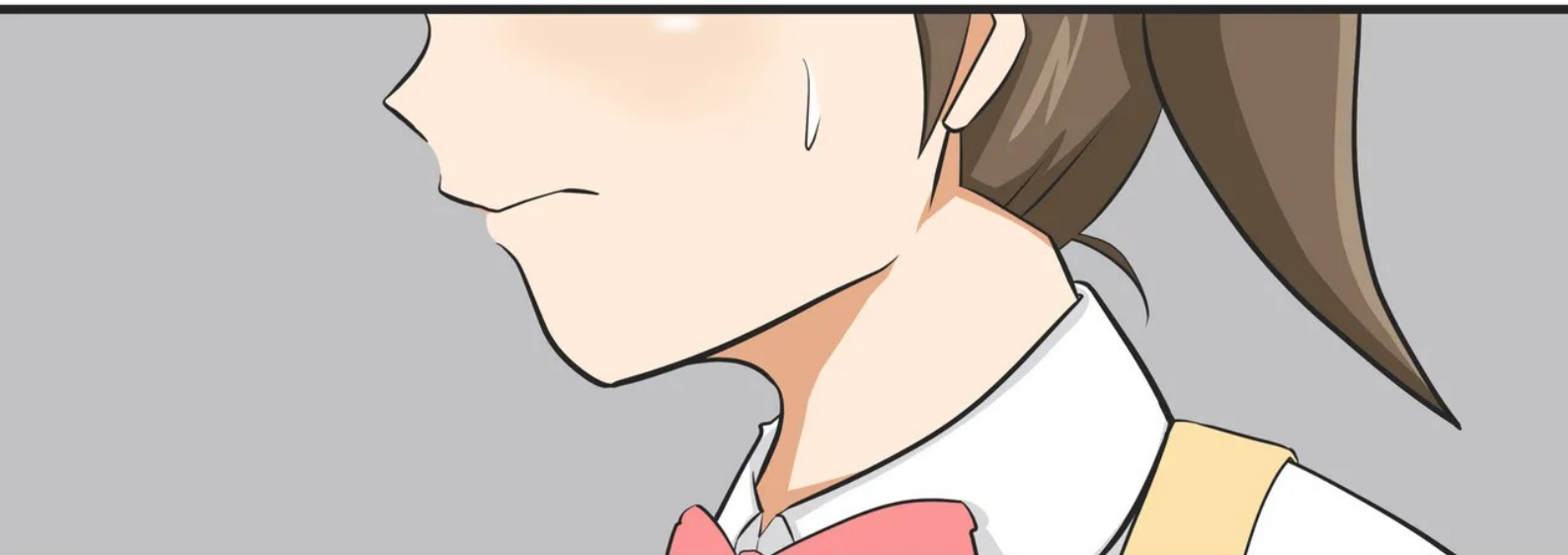












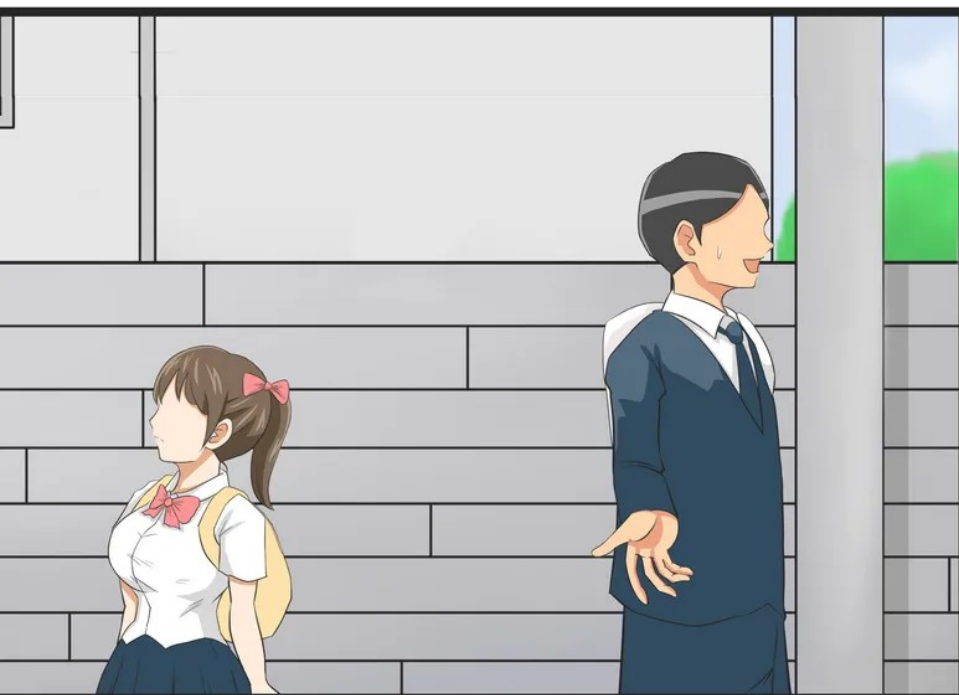


ちよつと…真面目に…
答えて…ほしいかなあ…？

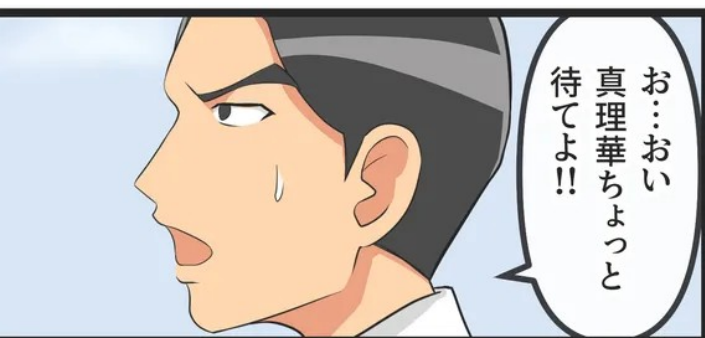


はっ!? どうって…
何だよ急に…!?

たける…



どうってお前!!
俺にとって真理華は
すげーお子ちゃまで
妹みたいって感じかなあ!?



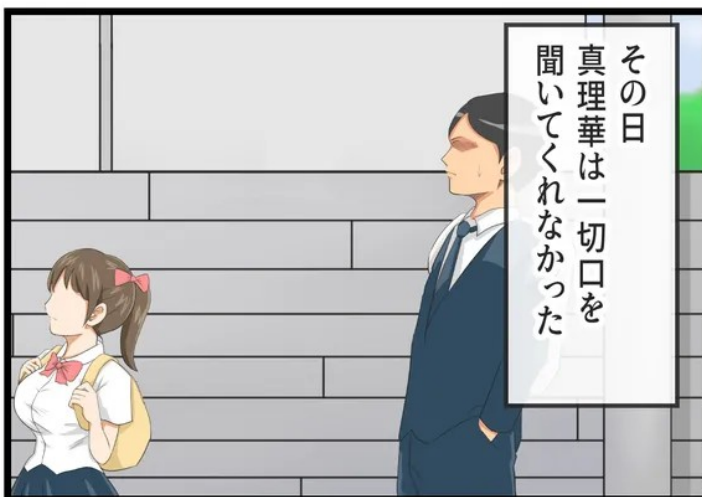
お…おい
真理華ちよつと
待てよ!!

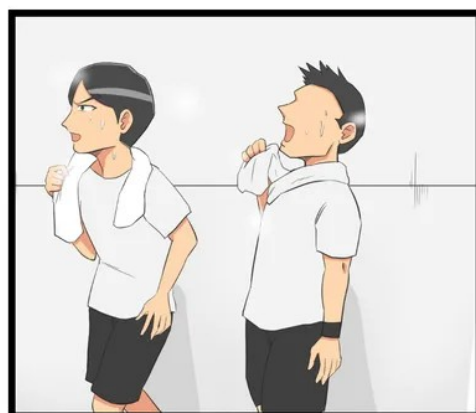


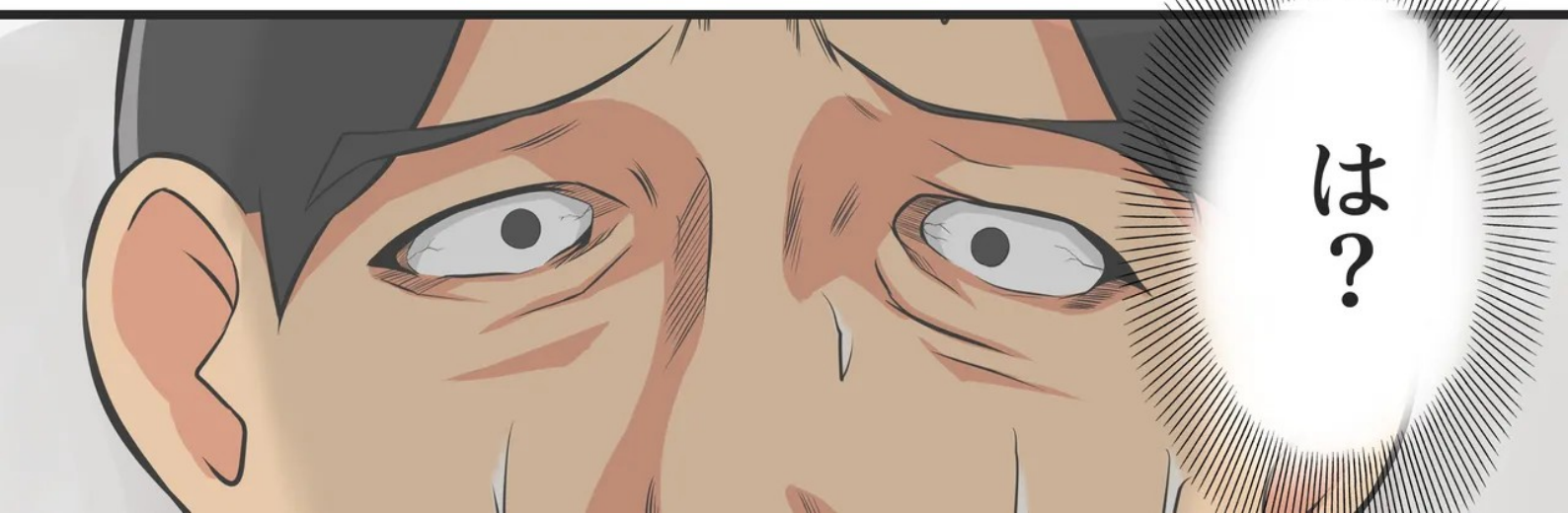
もういい
早く行こ…

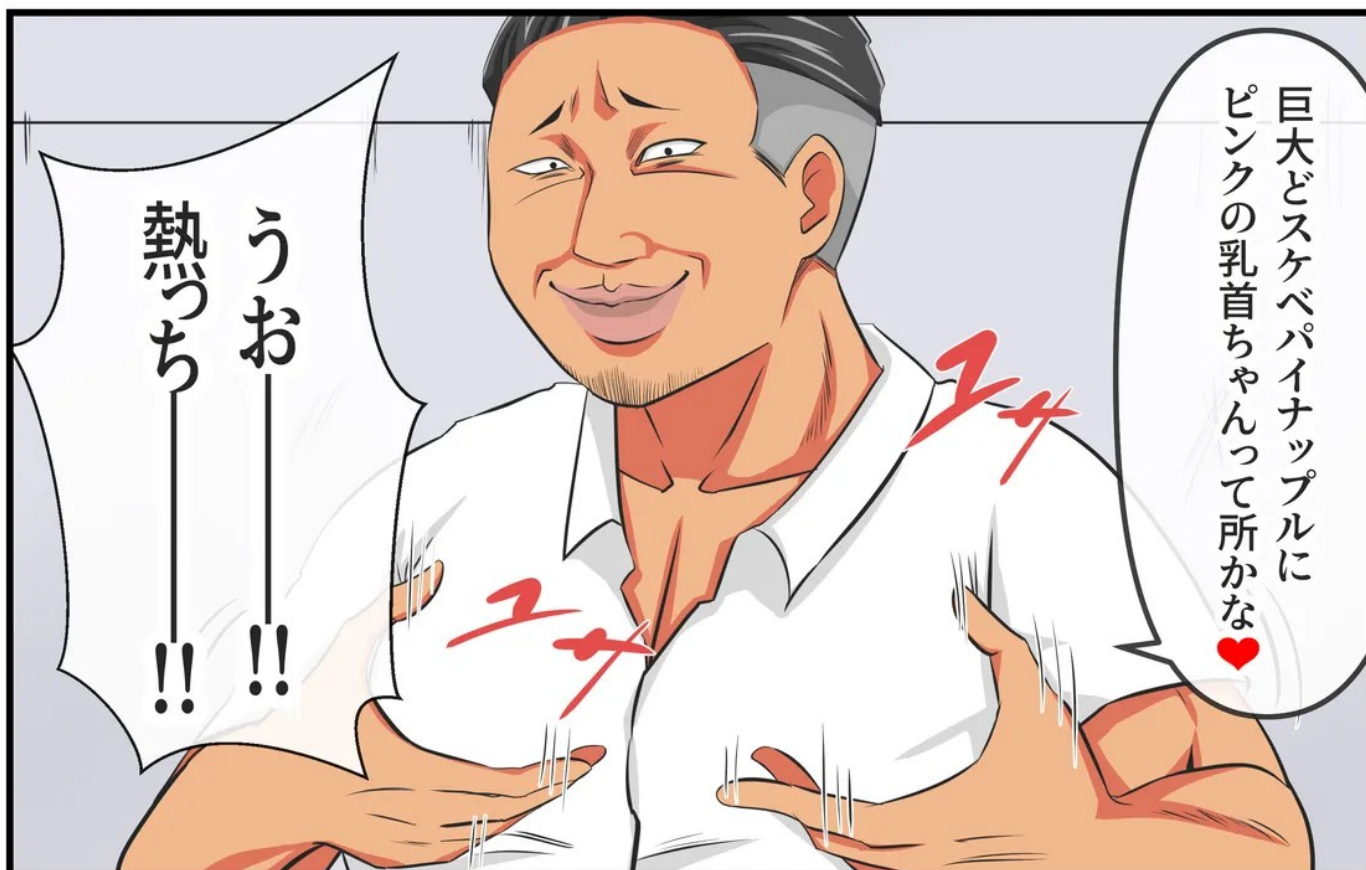


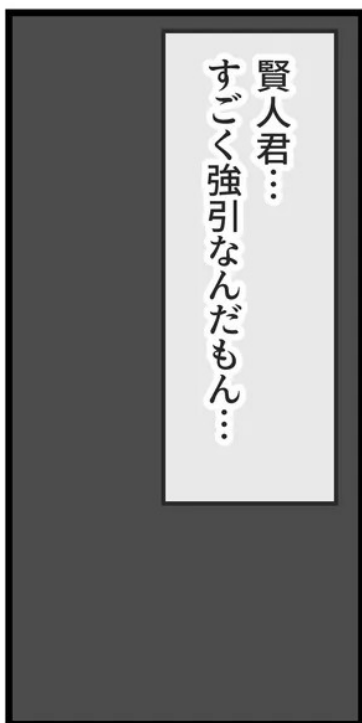
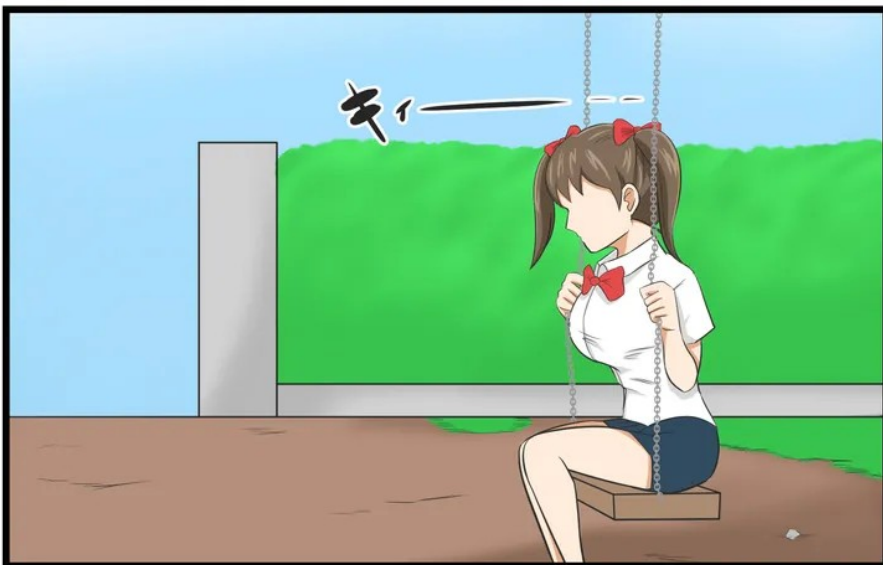
って…え!?











2か月前――

あ…あの
初めまして小柴真理華っていいます…
初めてのアルバイトで緊張してますけど
よろしくお願いします

あーそんなに
緊張なくていいって！
リラックスリラックスー！

初めは
すごくチャライ人だなんて
思ってたけど苦手だった…

でも一緒に働いてみて
すごく気さくで面白くて…

店長が
これだからよ！

大丈夫？

すごく
優しかった…

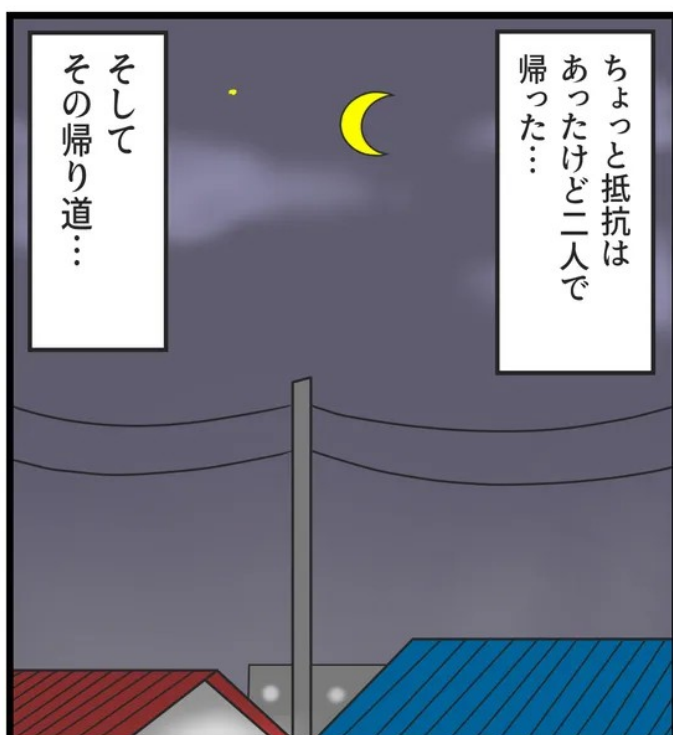
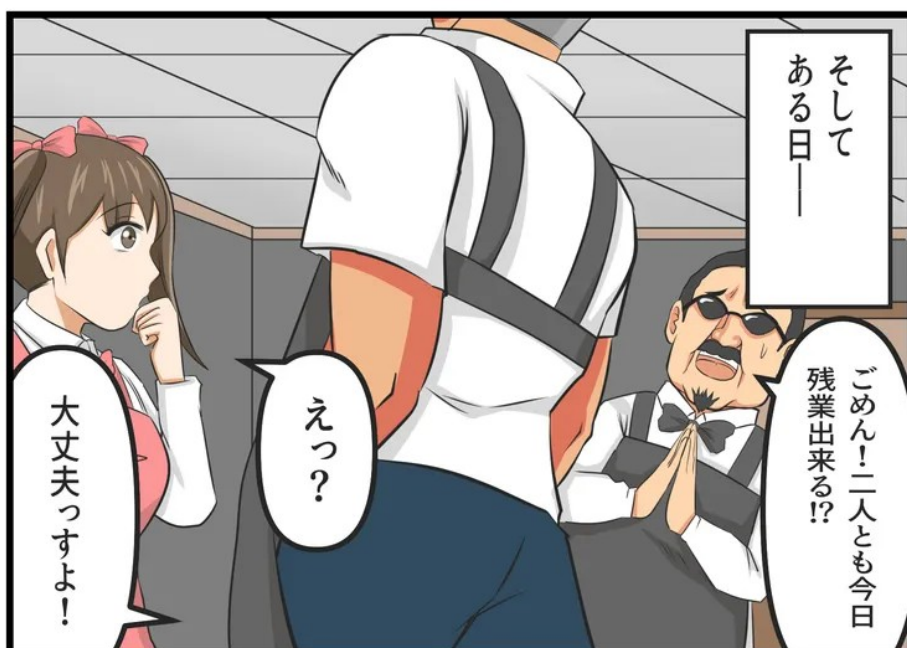
あつ…うん
ありがとう

キャハハハハ！

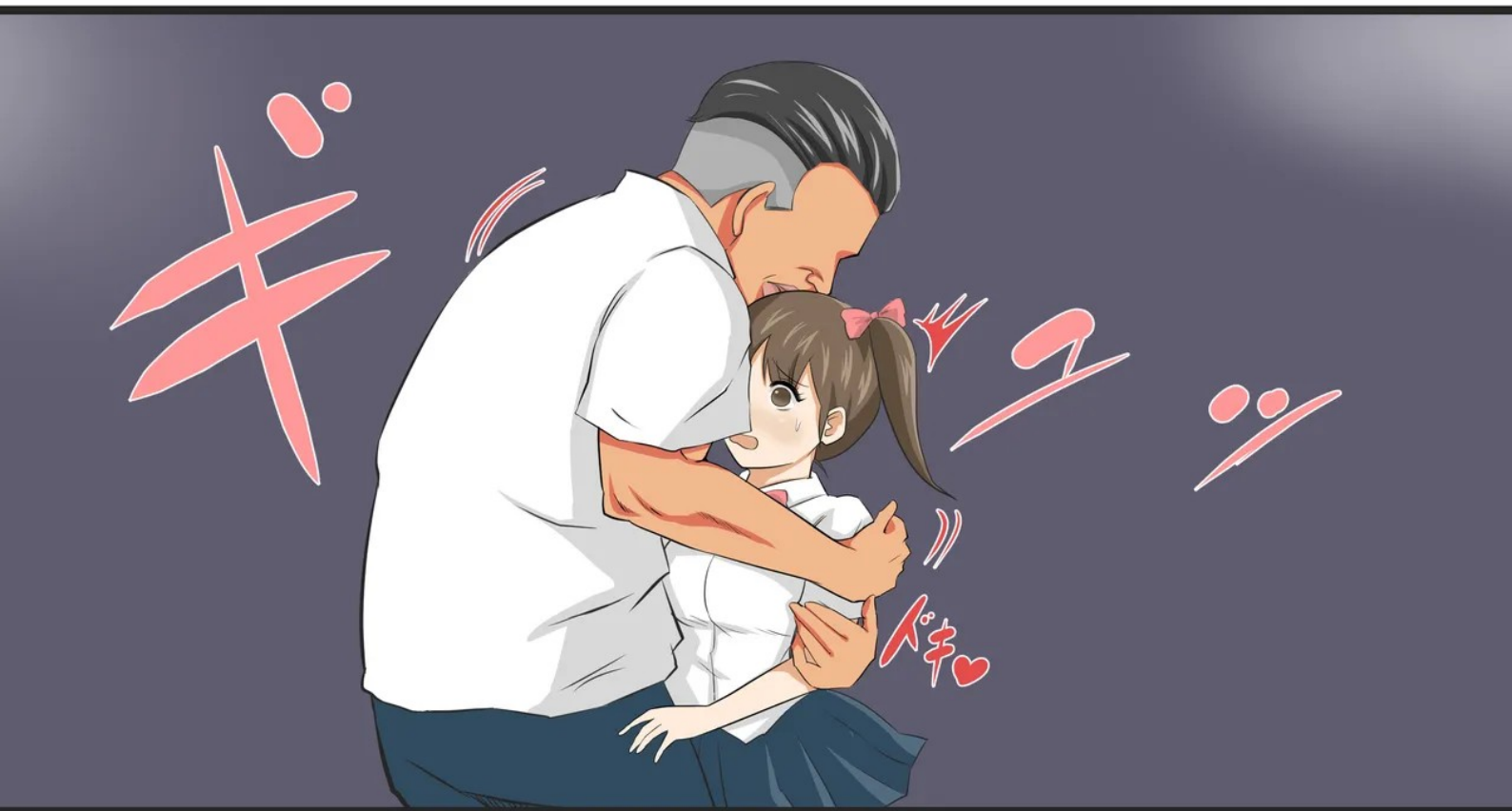
アタシは
次第にこの人に慣れ…

あつ！
ねえ賢人君！

なんで
ござるか!?







その日はただ
抱きしめられたただだった

優しいけど…すごく強く…
ギュって…抱きしめられた

これが男の人の
胸の中なんだあ…

そして
その日を境に賢人君が
アタシにとって大きな
存在に変わっていった

トクシ…

幼馴染で
ずっと好きだった
たけるといえば…

ちんちんって
10回言ってみてくれ！

子供の頃は
あんなにカッコよかった
のになあ

周りの女の子は
みんな彼氏とラブラブ
してる…正直ついて
いけないけど…

アタシ本当に
どうしっちゃったんだろ

トクシ…

アタシも
早く彼氏を作らなきゃ
いけないのかなあ…

そして抱きしめられた日から
数日後――

真理華！
今日ちよつといい？

えっ？
あつ…うんいいよ！

真理華！
マジで死ぬほど好きだ！
俺と付き合ってくれ！！

告白された

すごく嬉しいんだよ
でも…アタシまだ自分の
気持ちがあつきり分からなくて…

ああ分かった！俺
真理華がふり向いて
くれるまでいつまでも待つよ！

正確にはオッケーって
言っていないけど…その後は
それまで以上に仲良くなつて

距離が縮まった…
とゆうか…くつついたり
する事が増えていった

ちよつと照れるけど…
正直そんなに嫌じゃない

でも…なんだか
辛くて切ない…

たけるの笑顔が
どうしても
アタシの頭をよぎる…

トクン…

ラインをしたら
すぐに返事をくれる
賢人君に対して

たけるはいつも
ラインの返事が遅い

あいつはアタシの事
どう思ってるんだろう

アタシはこんなに
たけるの事ばかり
考えてるのに…

ねえ…りっちゃんは
どう思う？

うーん…
難しいねえ

幼馴染ってのは
ちよつと特別な存在
だろうからねえ

うん
なんだよね…正直
たけるの事が好きなのか
どうかも分かんなくて…

アタシは
断然その年上の
彼をお勧めするけど！

何より人生経験に
なるしね！

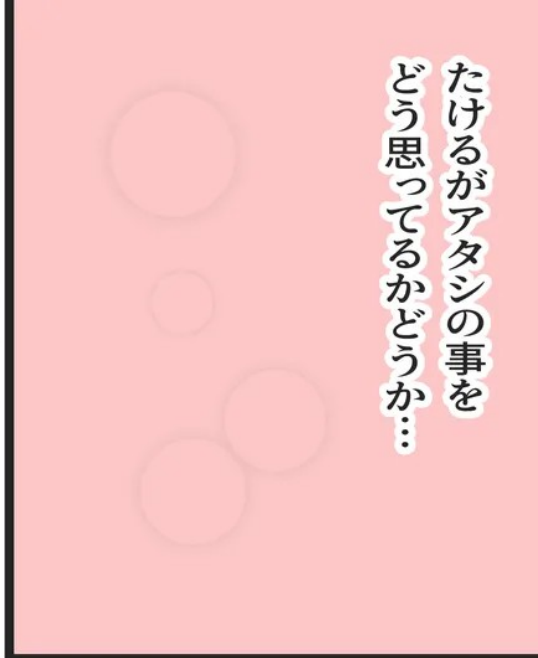
うん…

まあ言っちゃうとさ
好きって形にも色々あって
あんたの幼馴染に対する気持ちも
間違いなく好きの形だと思うんだよ！

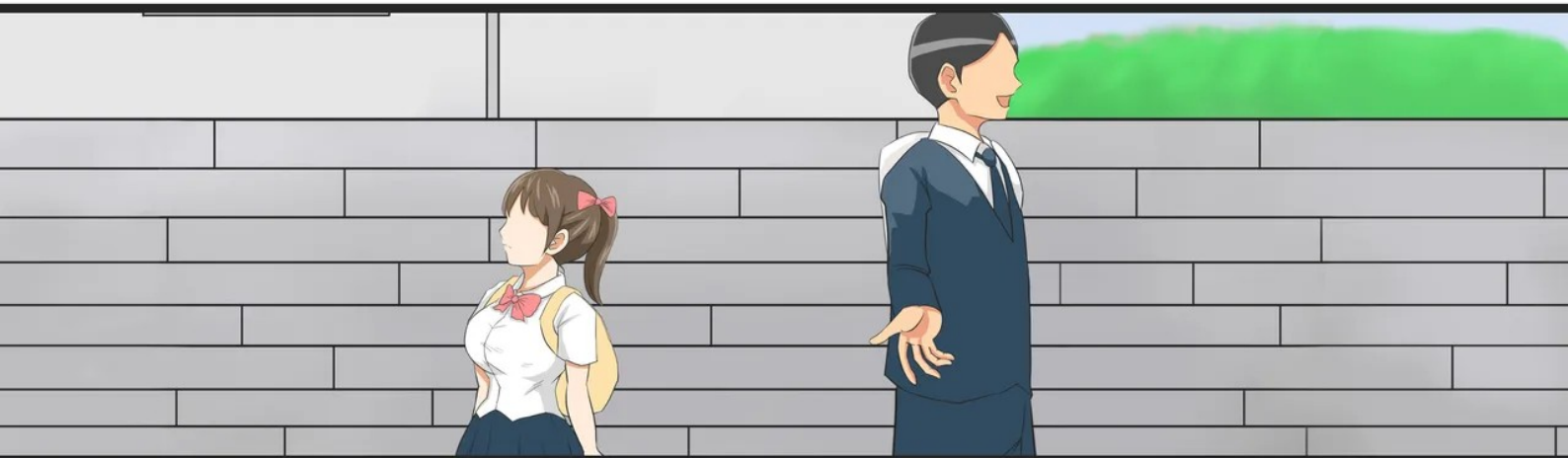
でもその年上の彼に
対する気持ちもまた別の形の
好きの形だと思うんだよね…

まあ色々言っただけ最終的に
決めるのはあんただ！
たくさん恋に悩め気高き処女よ！！

りっちゃんは
すごく頼りになる
でもどっちなかって言うと
賢人君を推してくる



たけるがアタシの事を
どう思ってるかどうか…



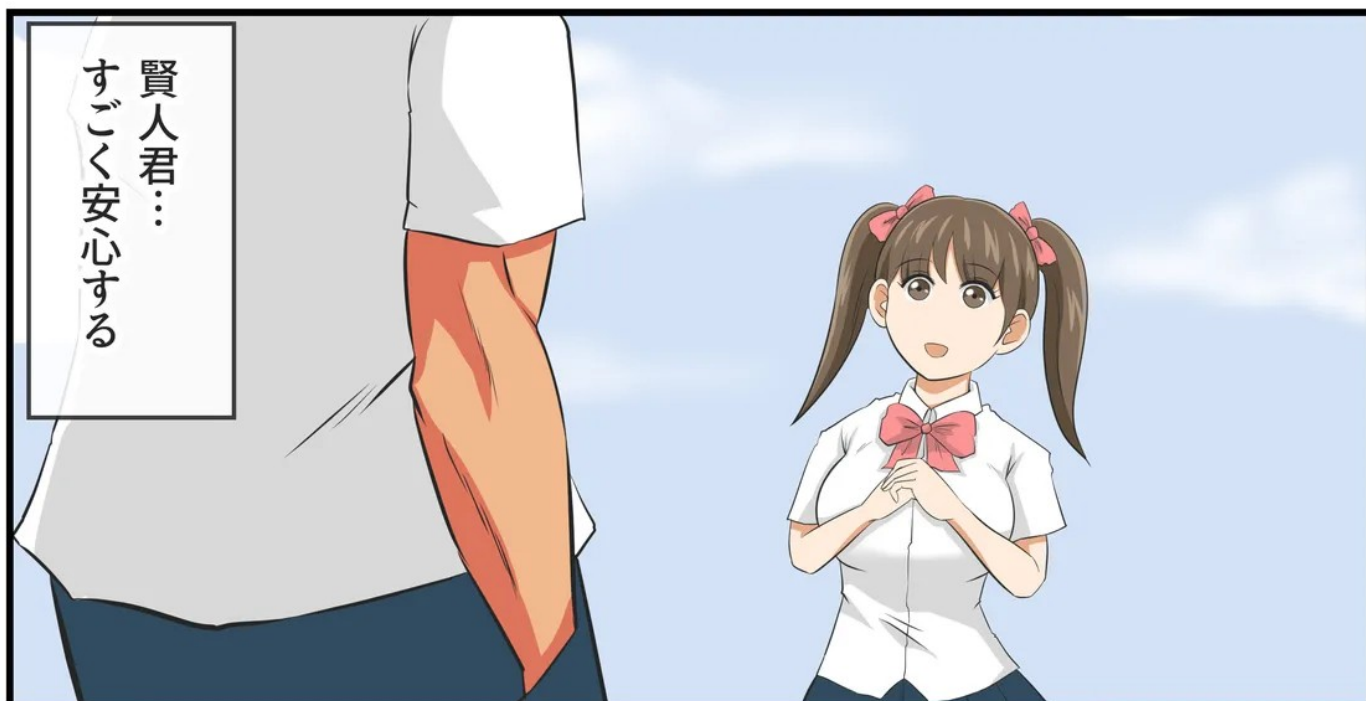
たけるは最初から…アタシに興味がなかった

う…えっぐ…
ふえ…うっぐ…

アタシ…バカだ…
ずっと…相手になんか
されてなかったのに
ふっ…うっう…

今までずっとアタシを横で
支えてくれていたもの…
それがなくなってしまった様な
そんな気持ちだった







まあ要するに俺が
こないだ言った
「隙」ってやつよ!

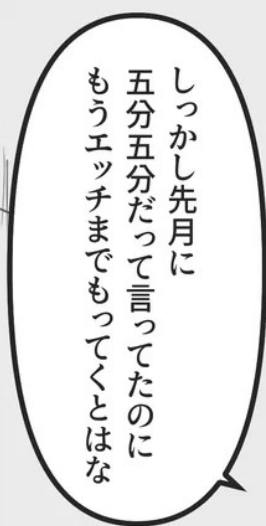


どうゆう事?

おう!



ああ何があったか
知らねえが何かあった
みたいだわ



しかし先月に
五分五分だって言ってたのに
もうエッチまでもってくとはな



出会って速攻
今日はギリギリまで距離を
詰めれるって確信したぜ!



向こうから会いたいって
誘ってくるから違和感は
感じてただけだよ



真理華…



そうこうしてる間に
すっかり夜も更けて…



そんでカフェで
お茶して適当にその辺り
ブラブラデートして





そうすると真理華は
全く抵抗する気配もなく
俺を受け入れた



キゅ♡ キゅ♡

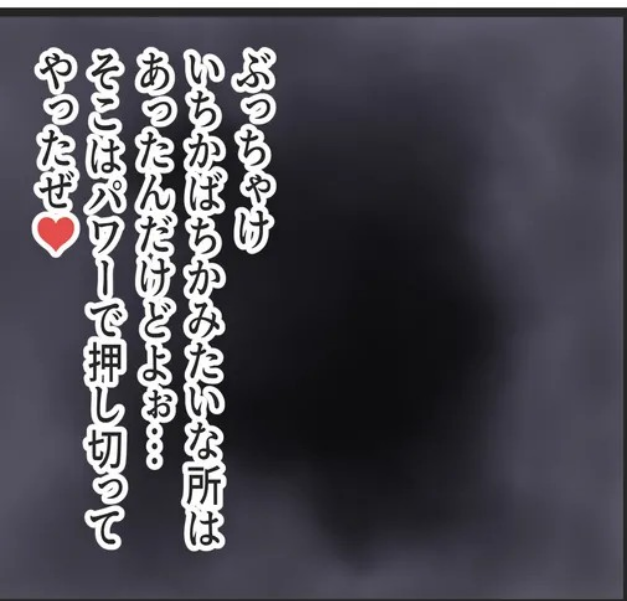


そう確信した俺は
すかさず唇を奪った

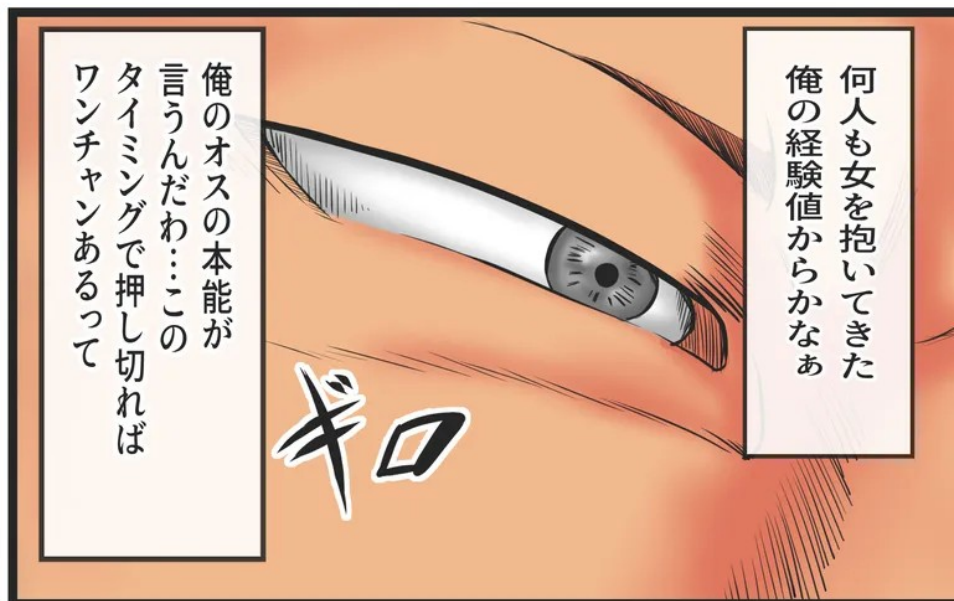


と……ここでガチで止めておく
はずだったんだ……でもな……

キゅ♡



ぶっちゃけ
いちかばちかみたいな所は
あったんだけどよぉ……
そこはパワーで押し切って
やったぜ♡



俺のオスの本能が
言うんだわ……この
タイミングで押し切れば
ワンチャンあるって

ギロ

何人も女を抱いてきた
俺の経験値からかなあ



もうマジで
我慢出来ねえよ真理華

誰にも邪魔されない
俺達が二人きりにな
れる場所に行こうぜ♡



うん

真理華好きだ!!
マジで好きだよ♡





アタシお子ちゃま
なんかじゃないもん…



ドクン



え…あつ…
それは…さすがに



彼氏にするなら
絶対そうゆう男だぞ!?



あんたの近くに
遅くてあんたを
守ってくれるイイ男は
いないのか?



ドクン



行くぜ!!
真理華♥

えっ!!
あつ…あの

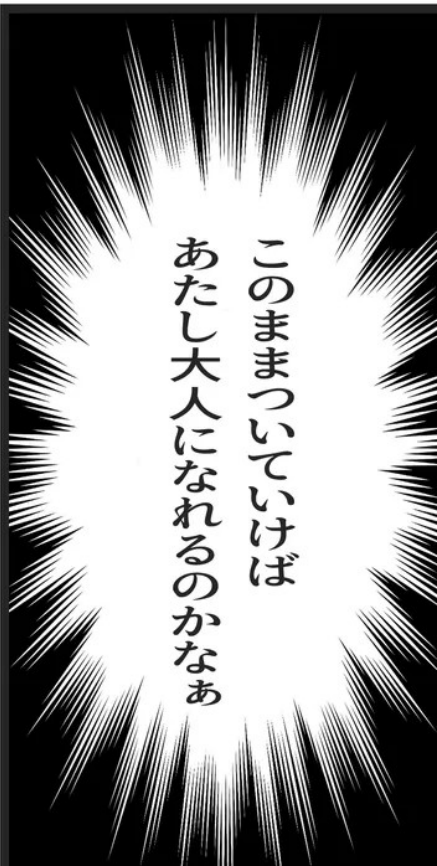
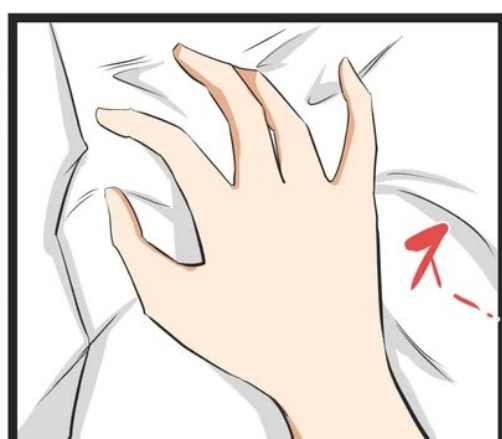


あつ…あの…
賢人君…



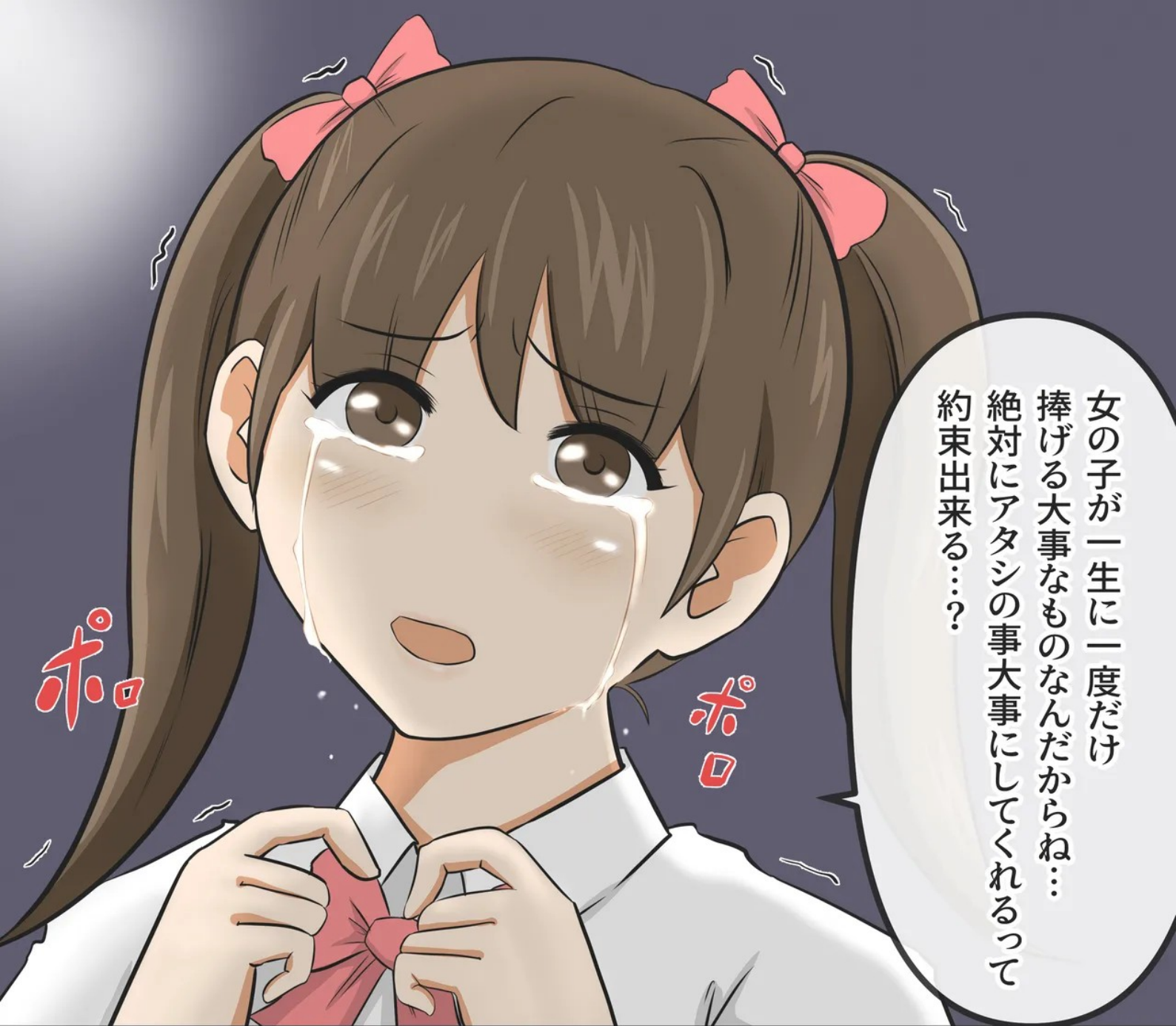
ニヤ..

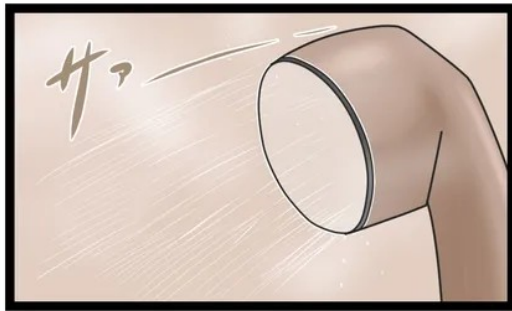
よし!
堕とした♥

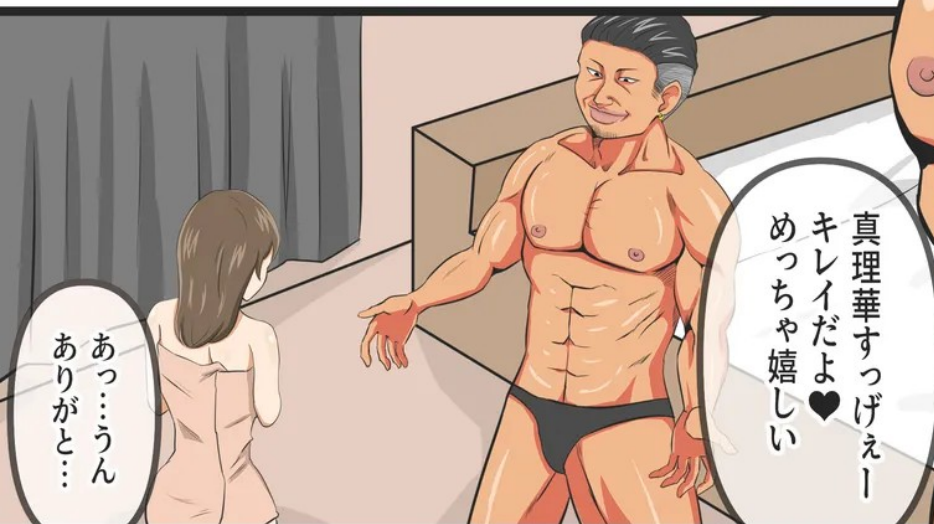


このままついていけば
あたし大人になれるのかなあ

んっ!?







あの…やっぱりアタシ
まだこうゆうのは…



あっ!!



肌と肌が触れ合って
温かい…



真理華
愛してるぜ♥

バカヤローここまで来て
逃がすわけねえだろ



いやなわけじゃないけど…
やっぱり怖い…でも…
いつもみたいに服越しじゃない
賢人君の胸の中

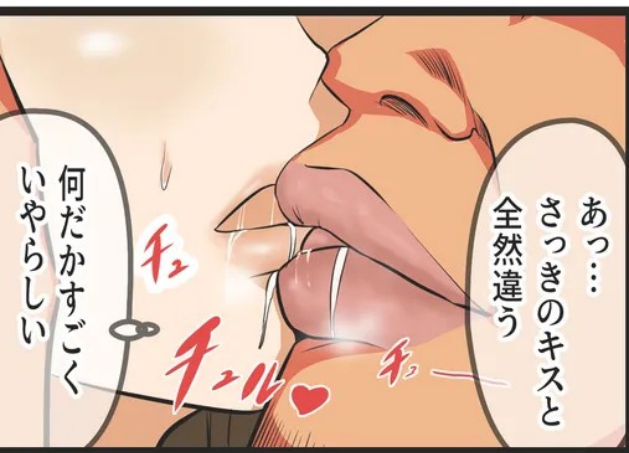


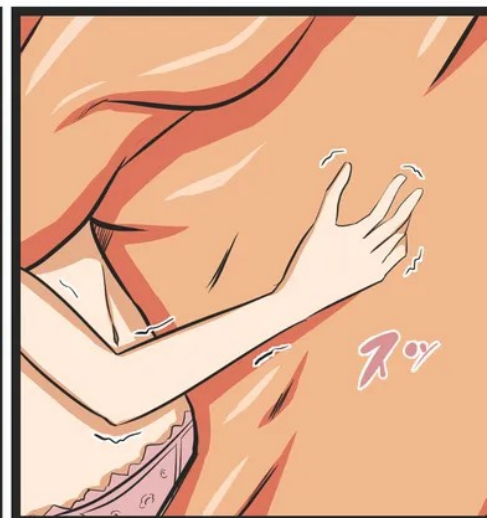
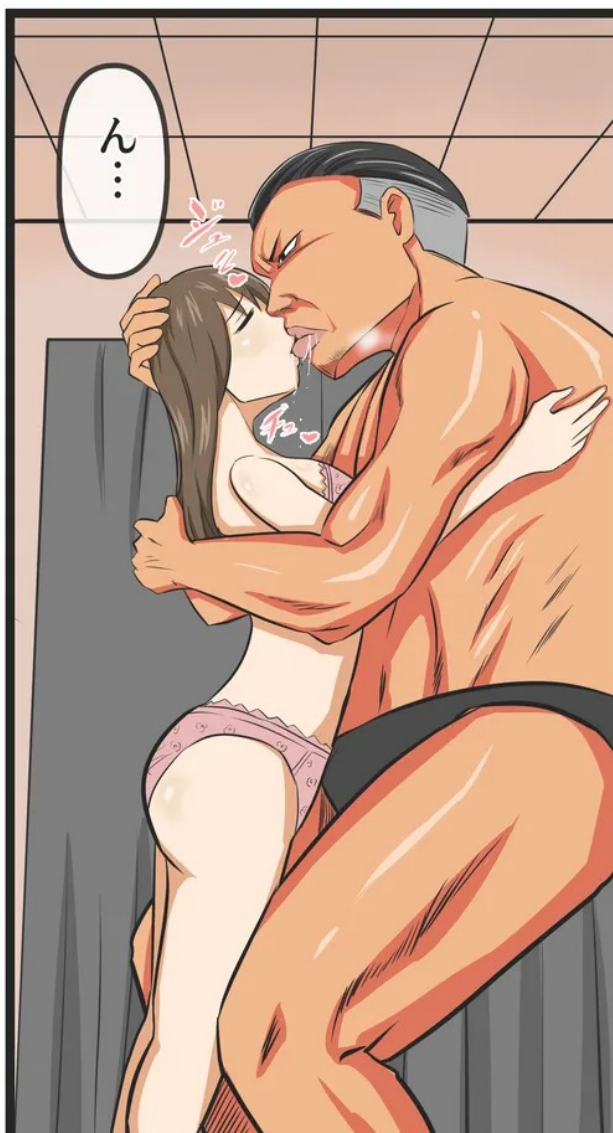
お前は今日俺に
処女を喰われるんだよ♥

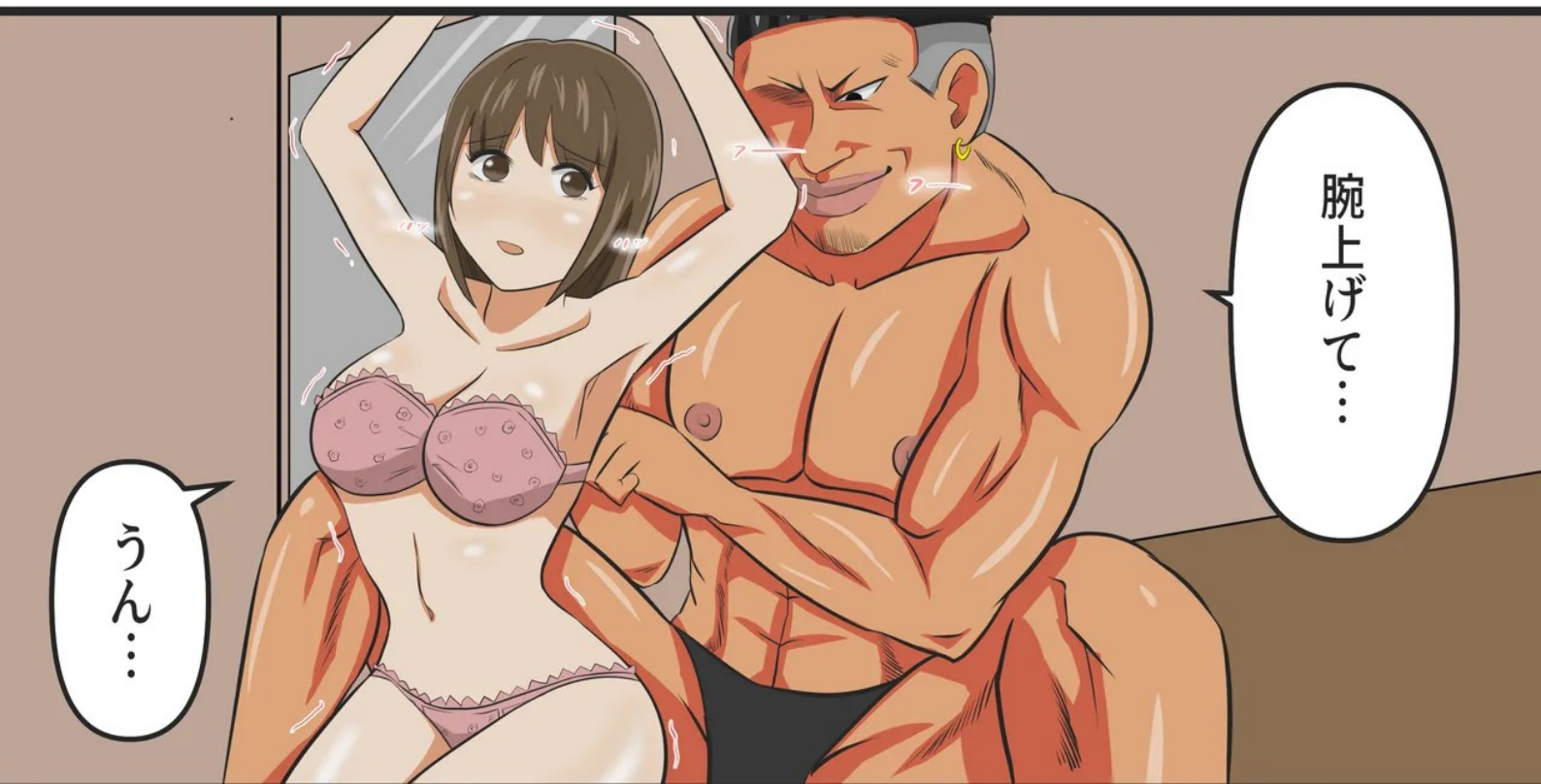
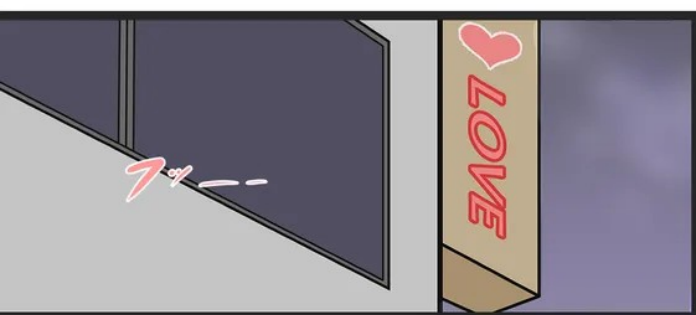
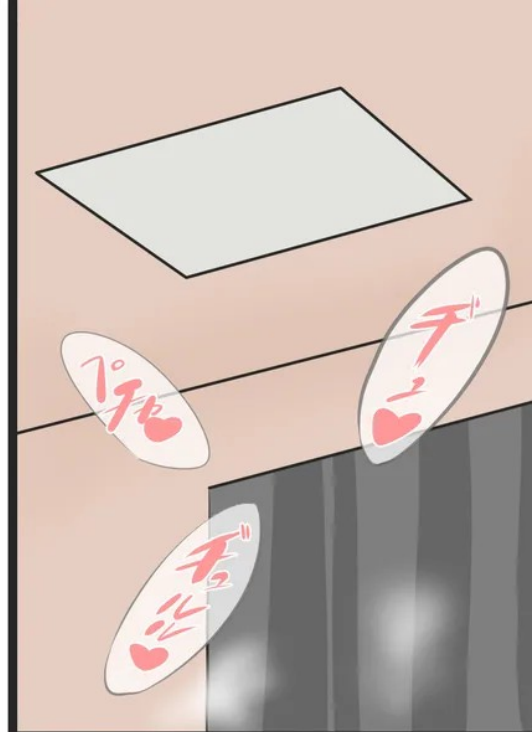


あっ!!
やっタオル!?











すげえーキレイだよ♡
真理華♡

アタシのおっぱい…
見られちゃった…



小学校—



中学校と…



同じ時を過ごして
きた真理華—

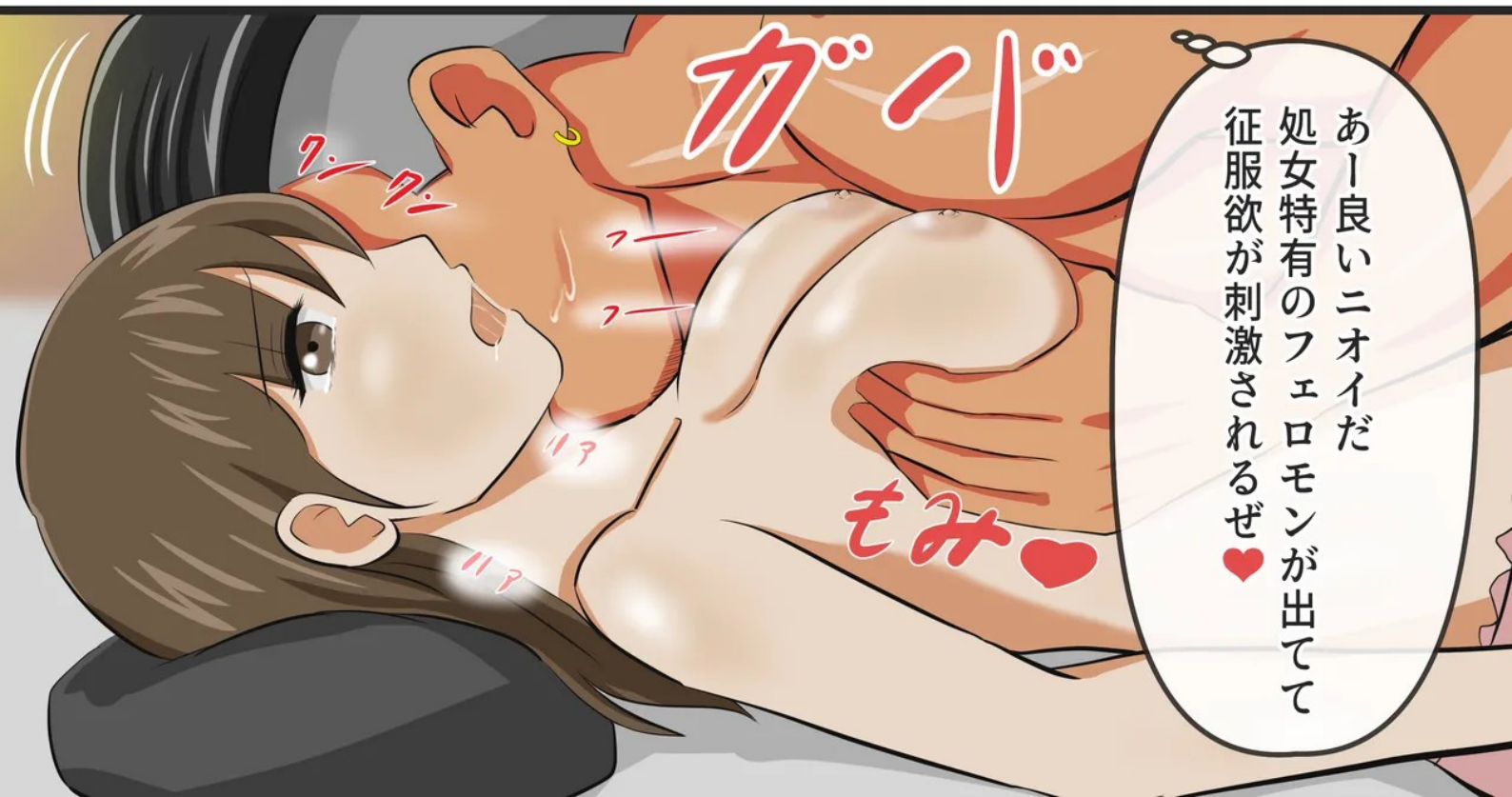
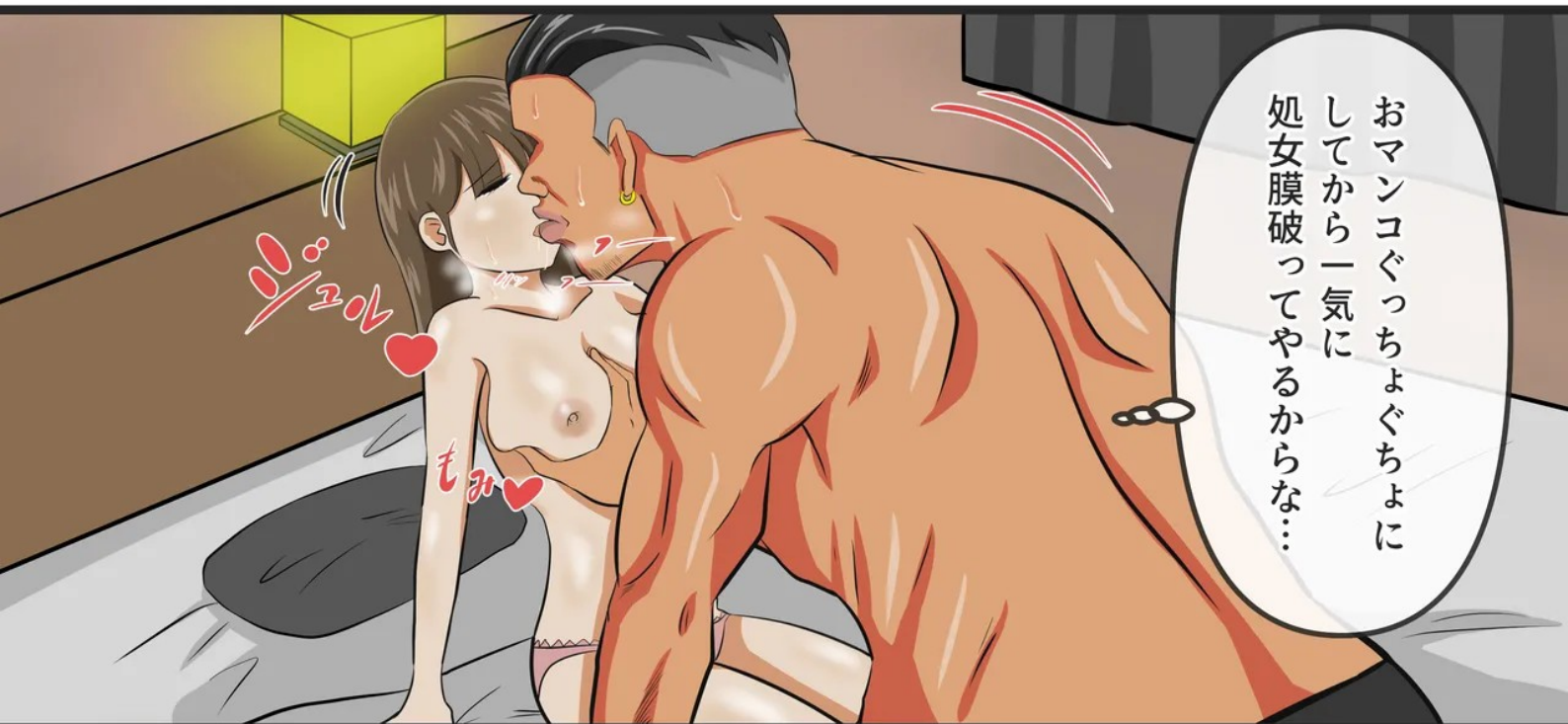


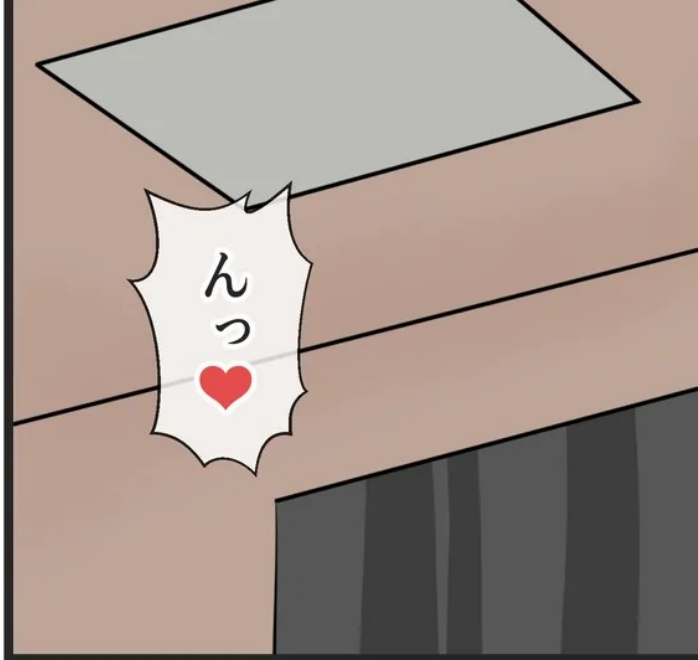
ずっと一緒に
育ってきた
そんな真理華が…











真理華この部屋には
俺とお前二人きりなんだから
もっと声出してもいいんだよ

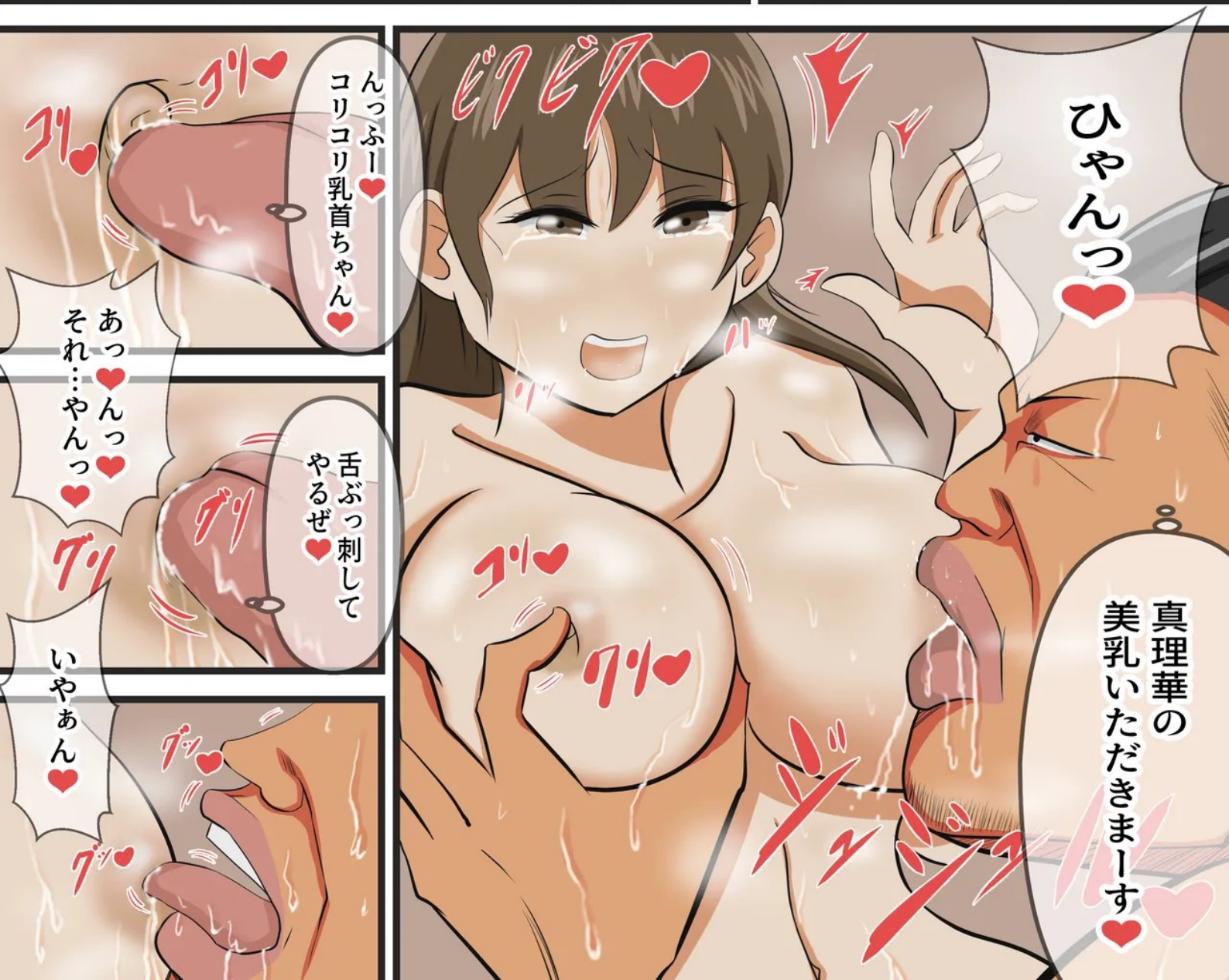


静かな部屋にあたしと
賢人君の吐息だけが
聞こえてくる…何だか
別の世界にいるみたい…

よしだいぶ
触られたり舐められたり
する事に慣れてきたな…



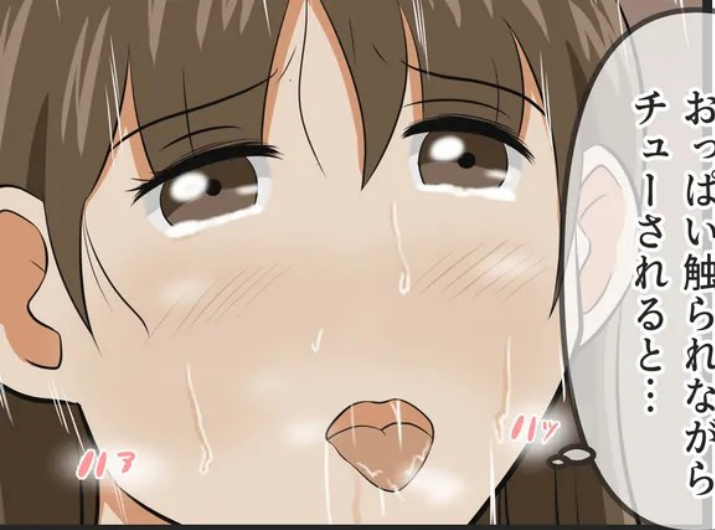
そんなの…
恥ずかしいよ…





あたしのおっぱい…
ママのおっぱいみたい

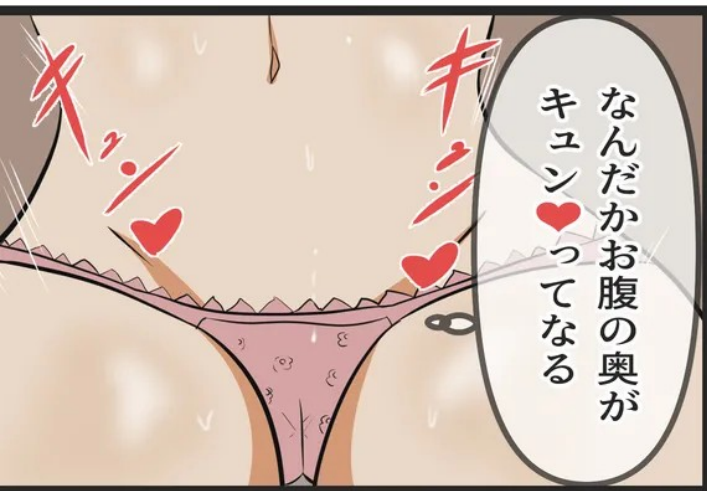
あたしのおっぱい
いつもと全然違う…
やだあやらしい…



ダメダメ!!
おっぱい触られながら
チューされると…



ふんんっ
♡



なんだかお腹の奥が
キュン♡ってなる



あたしすごく変だよ…
身体が…あそこがジンジンして
キュッってなるの

すごく切なくて怖いの
あたし…おかしくなっちゃったの？



賢人君…

んっ？



よしそれじゃあ
ちよつとお願いがあるんだけど
聞いてくれる?

えっ?なに?



真理華♥それはおかしく
なつたんじゃないくて
お前が大人の女になり始めた
証拠なんだよ♥

う...うん...

まったく
でっけえ乳して
なに言つてんだよ



あの...

賢人君...

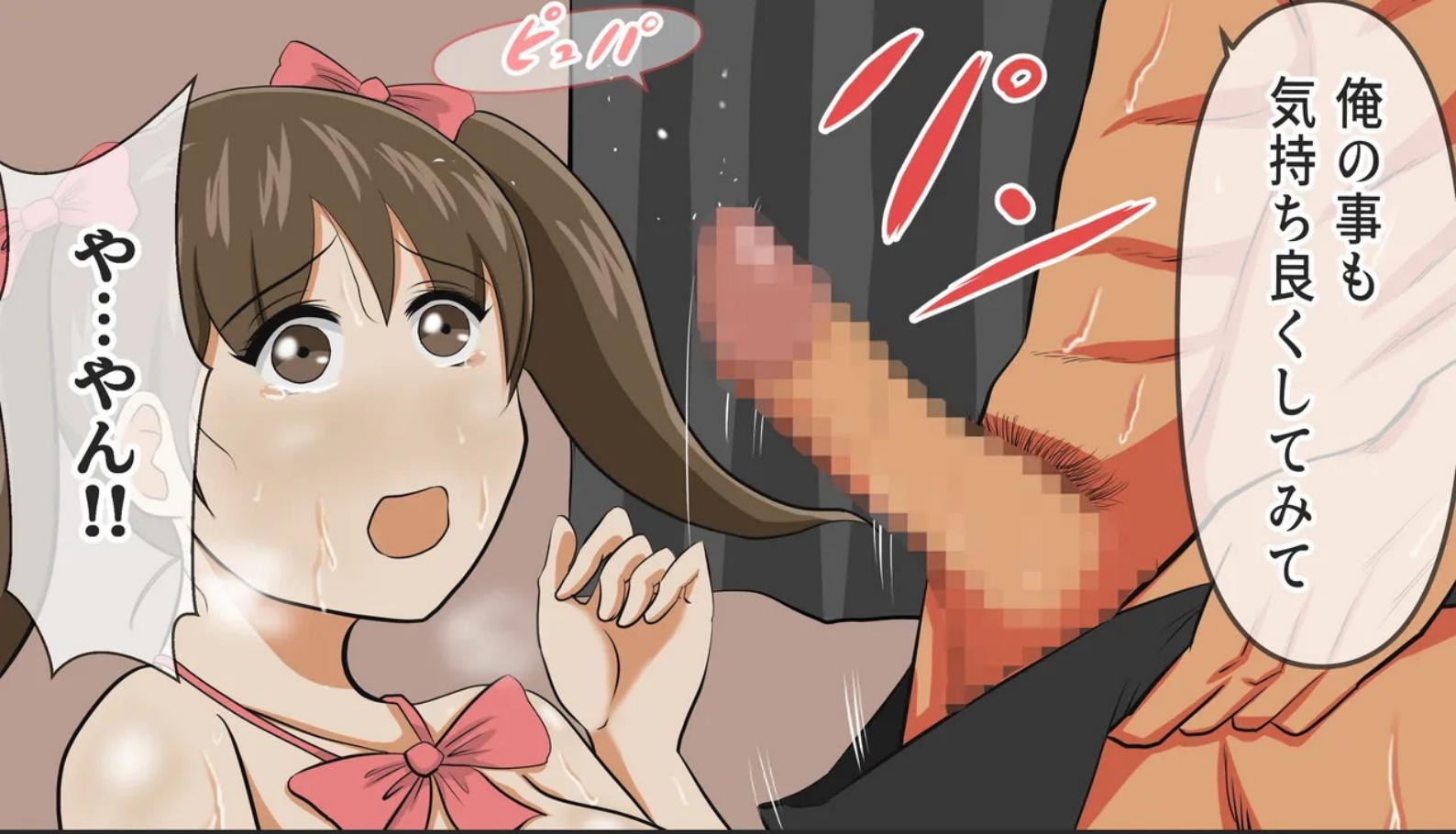


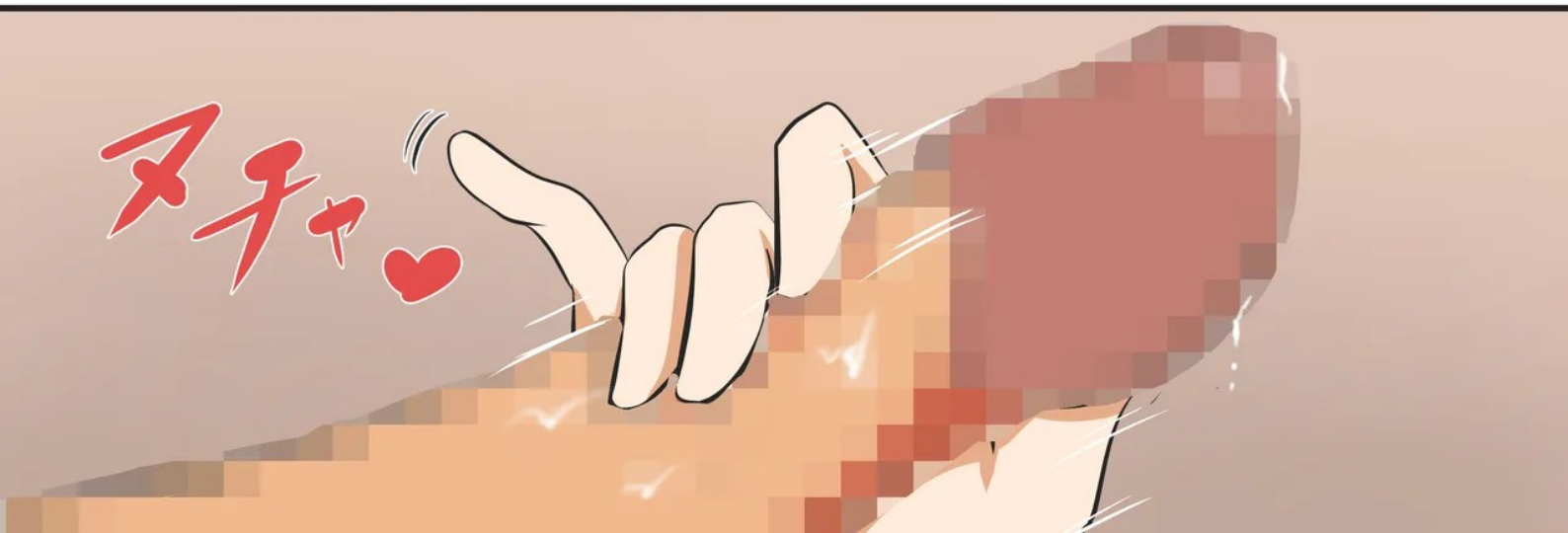
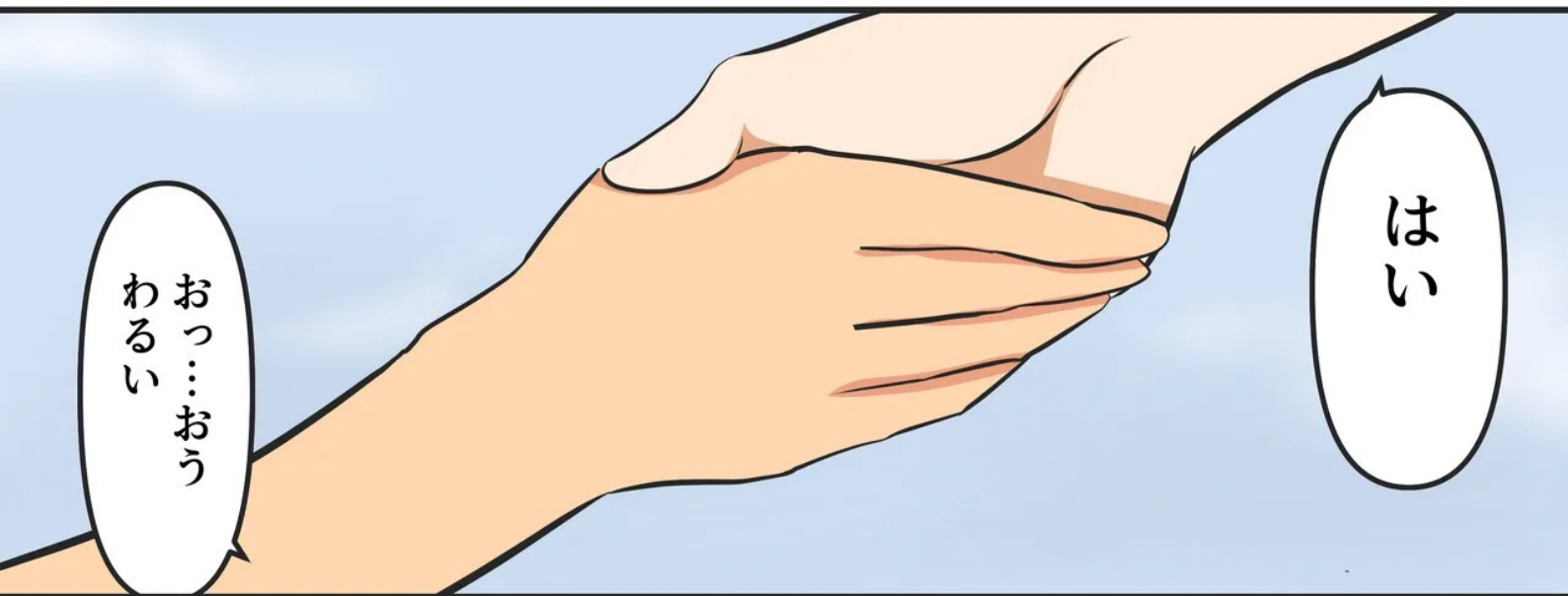
すっげえ
カワイイよ真理華♥

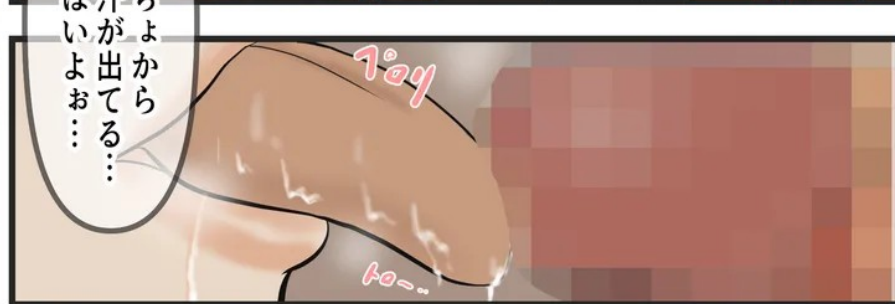
それじゃあさ...



あたし
こんなの恥ずかしいよお...















あっ♡

あっ♡

んんあっ♡

ジュルル♡

んっ♡ ああああっ♡
あっ♡ いやあああん♡



あっ♡ ダメ♡ それ…
アタシのパンツ♡ 舐めちゃ
やああああああん♡

あっっ♡ んっ♡

あっ♡ 何これ…
頭が真っ白になってく
もう…エッチな声…
我慢出来な…あっ♡
出来ない…んっ♡

うんめえ♡
真理華のマン汁が
よくく染みててたまらん♡

ジュ♡

ジュルル♡

ブル♡

頭の先っぽが痺れてくるぜ！
記念にこの
処女時代の最後に履いた
パンツ持って帰らせてえ♡

あっ♡



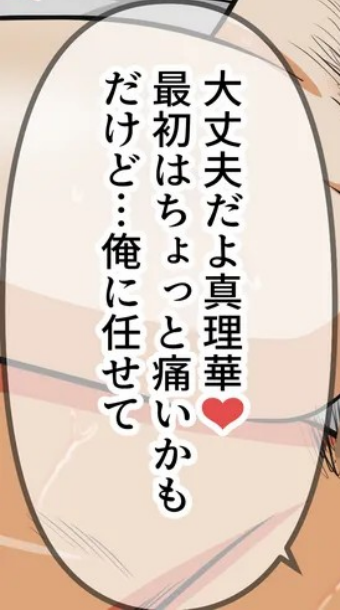
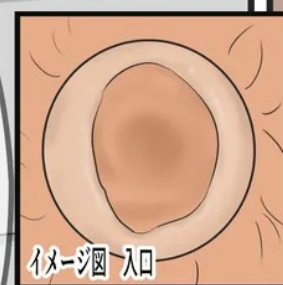
あああああっ♡

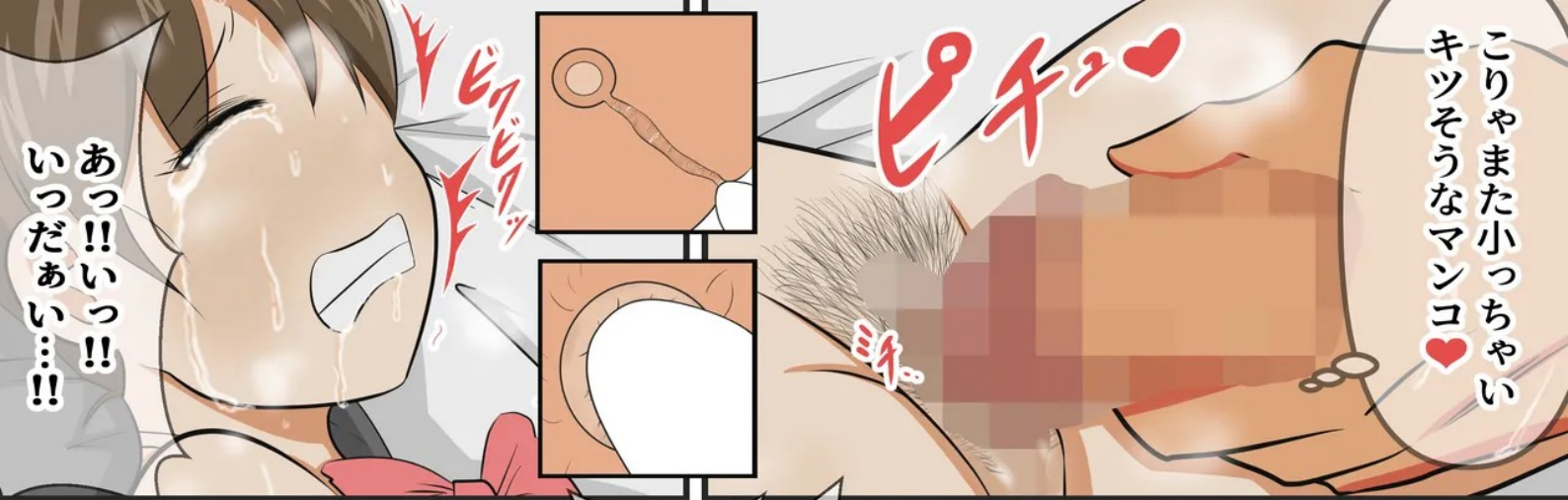
いやああああ
だめええ♡

ママと一緒に買った
お気に入りのパンツ
賢人君の唾でぐちよぐちよに
されちゃってる…

それじゃ
マンコちゃんも
見せてもらうぜ♡

あっ！やん！！





こりやまた小っちゃい
キツそうなマンコ♡

ピチッ♡

ビクビクッ

あっ!! いっ!!
いっ!!

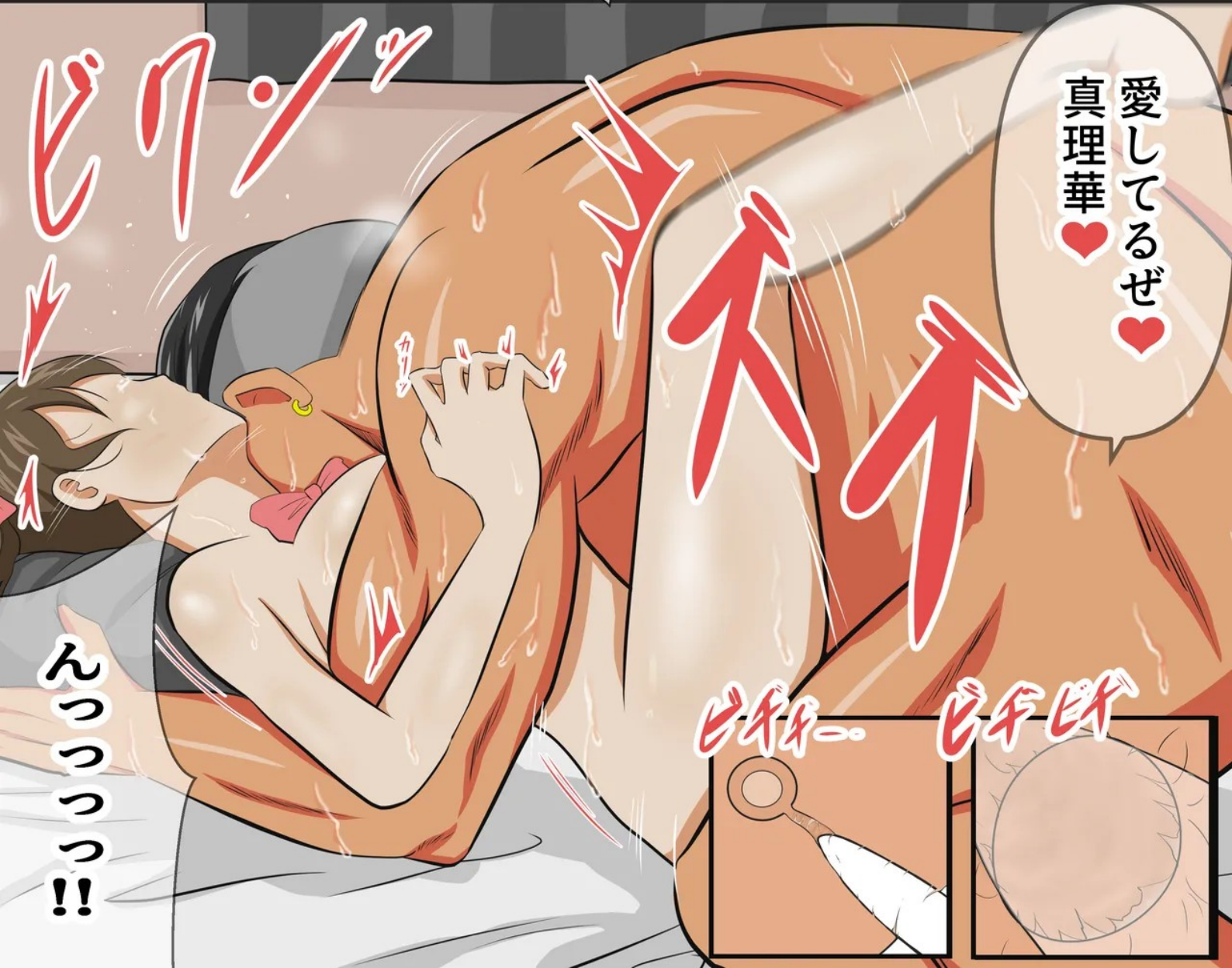


おっふう♡
はつきりと膜に
当たってるな...

アッ!!

うっ!! あっ!!
痛い!! 痛い!!
ダメダメ怖い!!

やっぱりやめよ!!
また今度に...



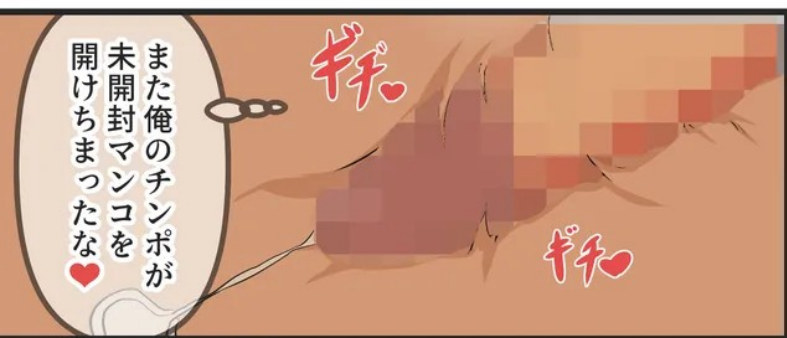
愛してるぜ♡
真理華♡

ビクッ

ビクッ

ビクッ- ビクッ

んっ!!



おマンコする
最後の最後までよく泣く
女だったぜ！

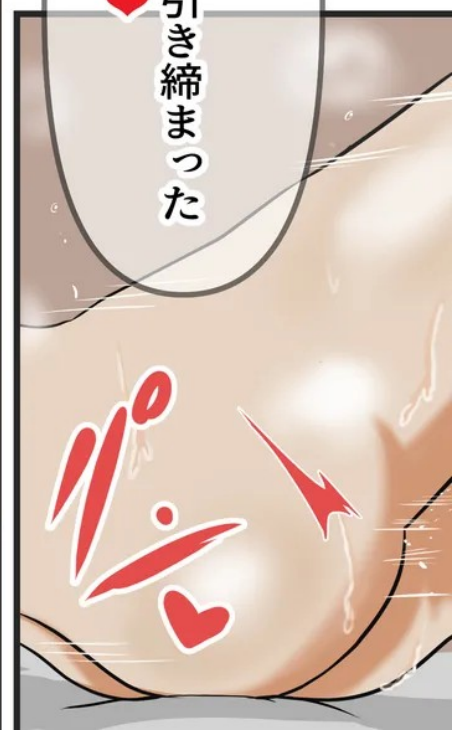
まあたぶん気になる男でも
いたんだろうが！
結果的に真理華の処女マンコに
最初にチンポをぶっ込んだ男は
俺だって事だ！

あっ♡あっ♡はっ♡
あっ…いっ…いっ♡
あっ♡♡

たっぷり気持ち良くして
完全に墮としてやる！

とにかく
圧倒的ロリ巨乳ゲットだぜ♡





真理華
俺に全部委ねて♡

気になる男ってのが
どんな奴か知らねえが

はっ♡んっ♡あっ…♡
あっ♡

真理華のマンコは
先着順なんだよバーカ

ああああああん♡

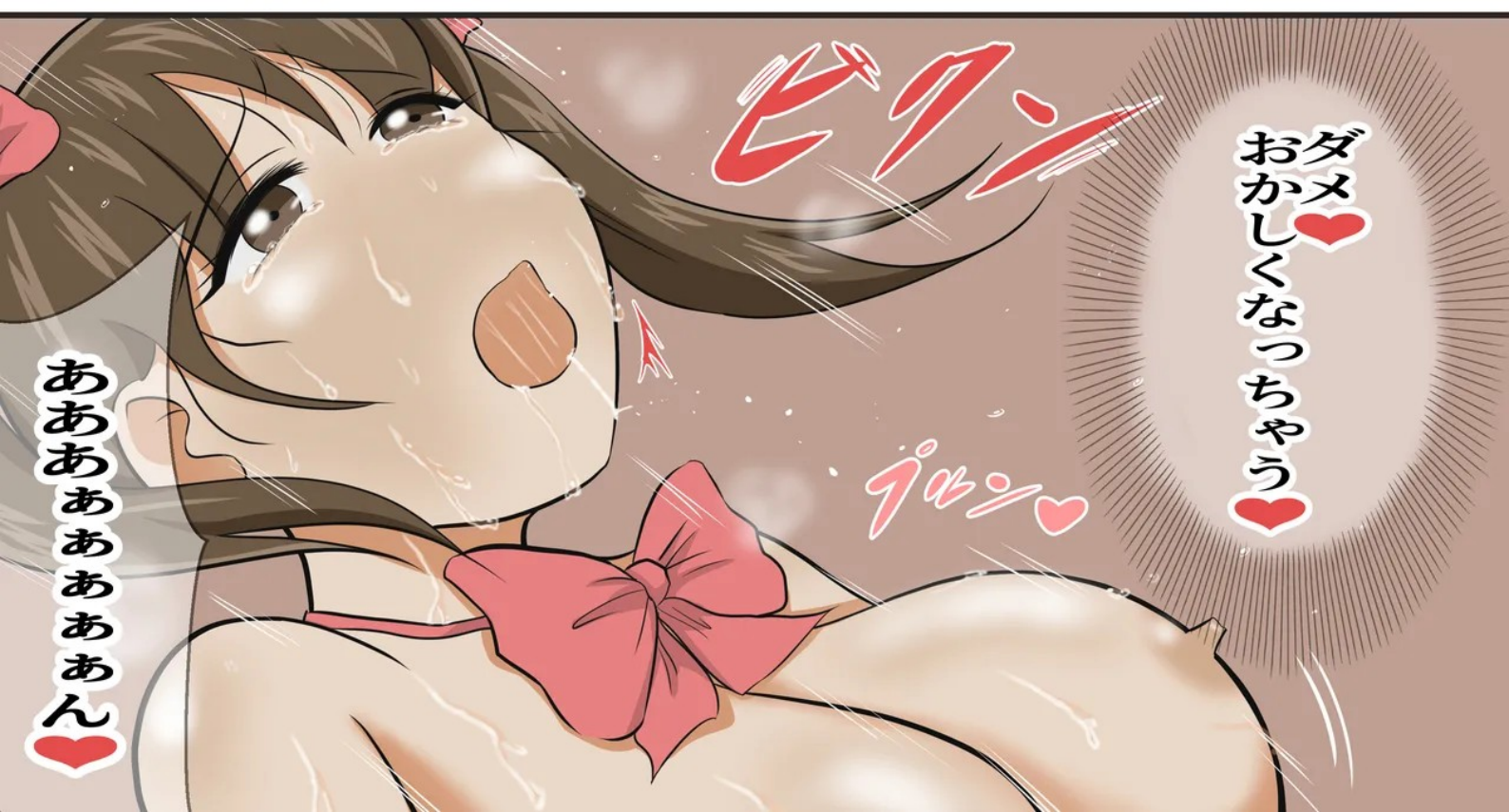
ダメ♡これダメ…うっ…深い♡
やだ怖い…こわれちゃうよお♡

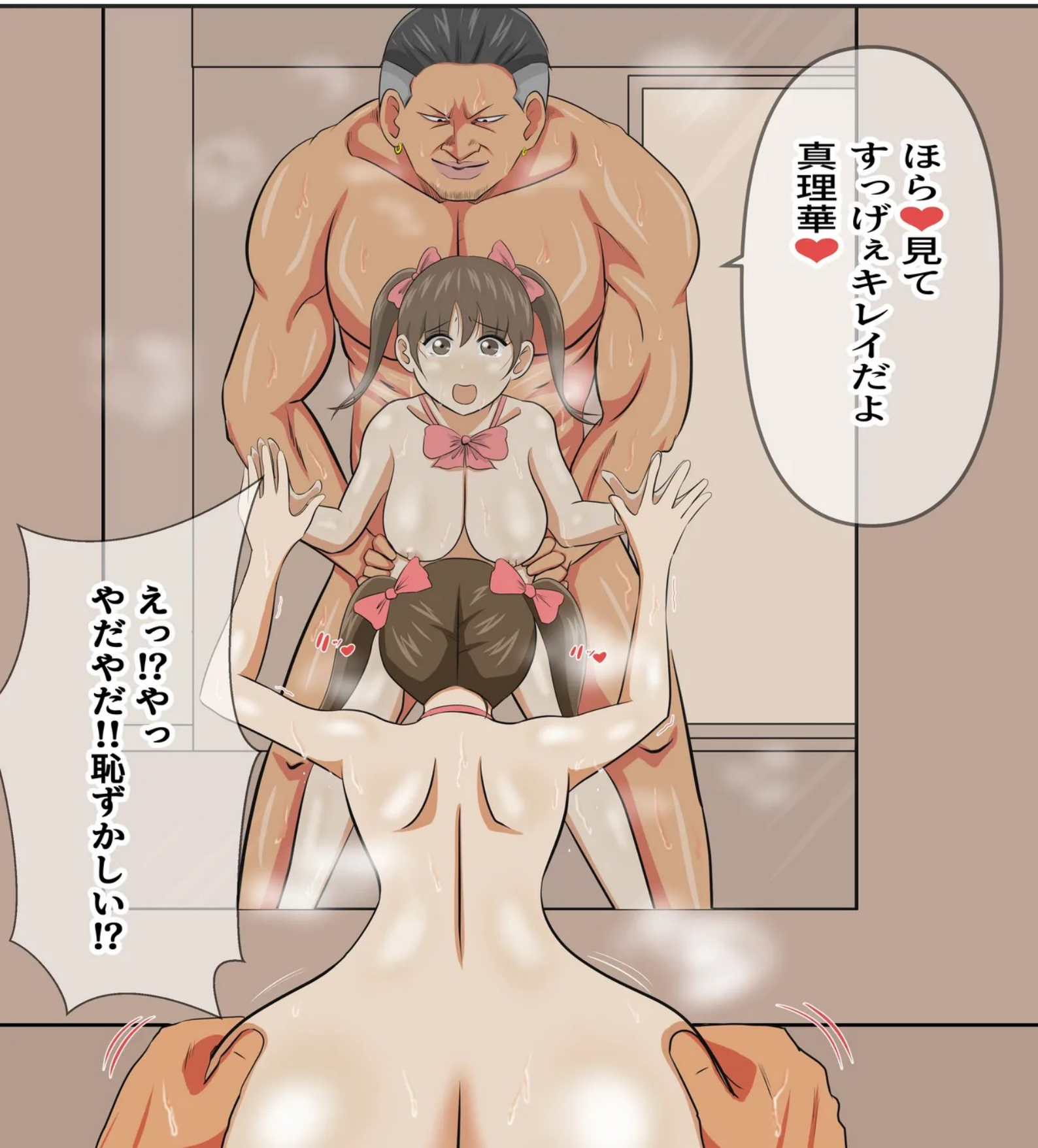
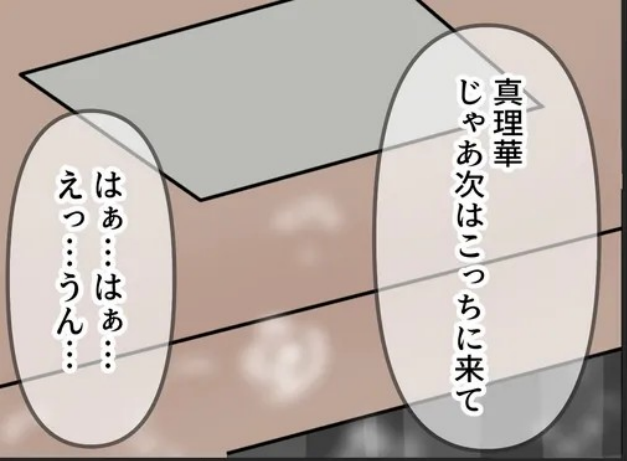
真理華♡心も身体も
俺に委ねてみて
そしたら気持ち良くなれるから♡

えっ…？
気持ち良く…？

このロリ巨乳はもう
俺のもんだ…

ふんっ♡んっ♡







何にも恥ずかしがる事なんて
ないよ…



やだやだ!!
やだよお賢人君
こんなの恥ずかしいよお!!



やん♥あたし…あんな…裸で
トロンとした目して…



最高にキレイだぜ♥
真理華



あんないやらしく…
おっぱい揺らして…
男の人と…エッチしてる…



ふやああんっ♥

ったく何言ってやがる
これがお前の本来の
姿なんだよ♥



やっ…すごい
あたしのおマンコに…
賢人君の太いチンチンが
出たり入ったり…



あっ♡んっあっっ
あたし…すごく
いけない事し…あっ♡

ふやっ♡



ほら♡つながってる所も
ちゃんと見せて♡

やああん♡



よし!!
そろそろいくぞ
真理華♡

えっ!?!
やっ♡あっ♡



あっ♡あっ♡
あああああっあっあん♡

あっ♡やっ♡



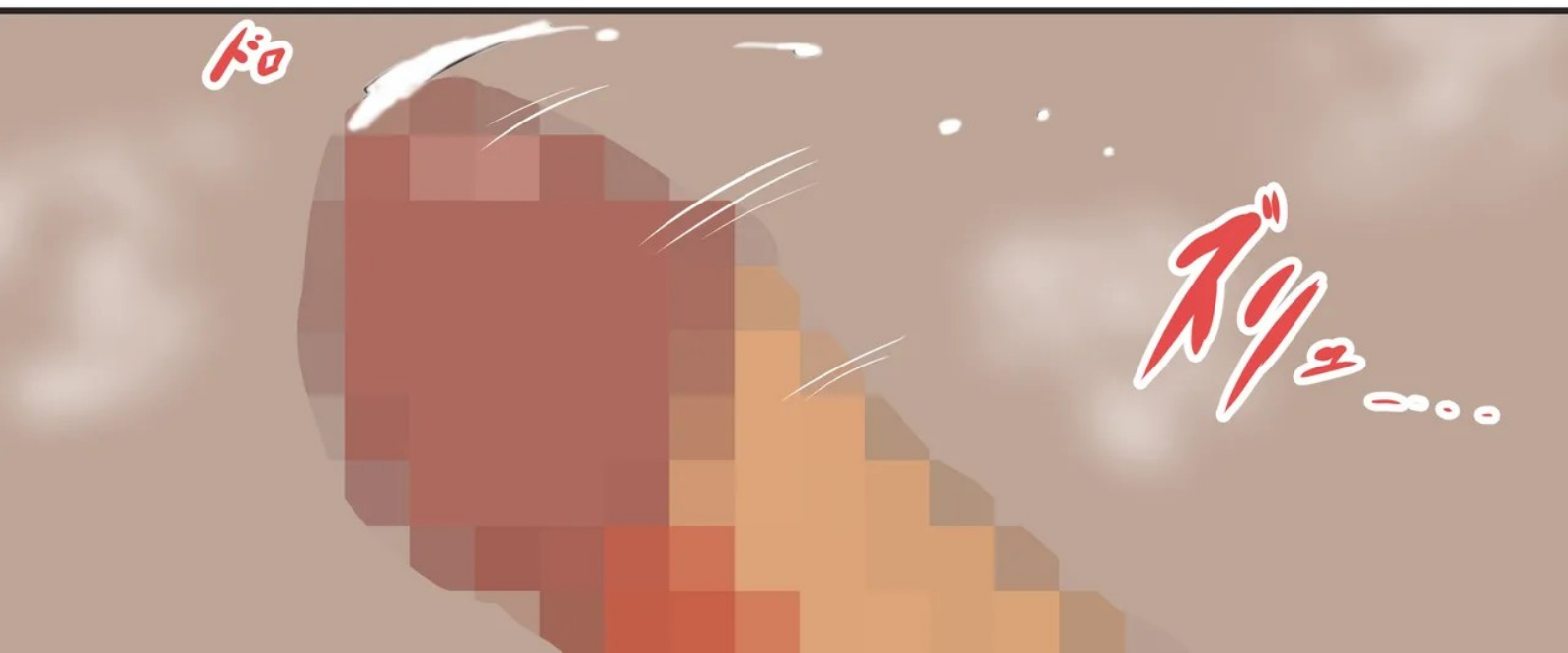
あんっんん
あっ...ふっ♡ふっかい...♡

あっあっあん♡あん♡あっん♡



ダメッ♡ダメダメダメ
もう...おかしくなっ...!!

んんっ...あっっ♡







大胆さ…



粘り強さと…



優しさと…



マメさと…



そうゆう能力を
しっかりと持った

スペックの高いオスの
精子を…



ちゃんと
メスは選ぶように
出来てるだよ♡



ああゆう真面目な
タイプの女ってのは...

うっ...ひっぐ...
ううう...えっぐ...



いやあしかし真理華の
キツマンは良かったぜ♡
抱いた後はずっとしくしく
泣いてたけどよ...

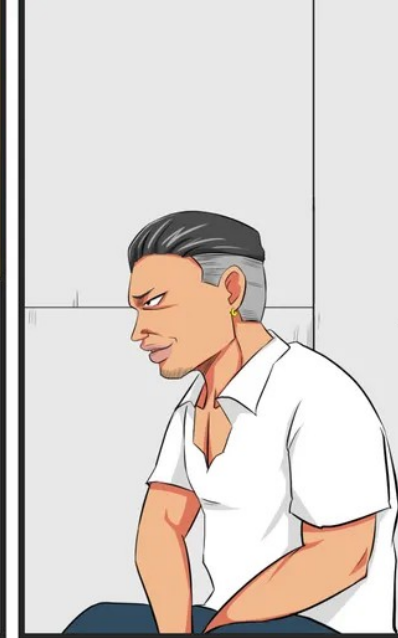
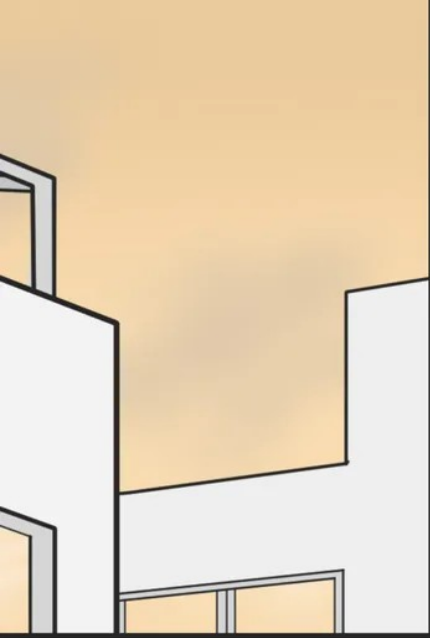


ちやーんと
俺の色に染め上げてやる



いっぺん身体を許した
男にはどんだけでも
従順になるんだよ...

ひっぐ...!!?



いやあーホント
これからが楽しみだわ
♥



わあああああああ!!

